



この説明書を保存してください。本取扱説明書には安全に関する重要な注意事項が記載されています。これを怠ると、重傷を負う可能性があります。この取扱説明書は製品と一緒に保管してください。
本取扱説明書に記載されている仕様、説明、イラストは、発行時点で判明しているものであり、予告なく変更される場合があります。

目次

はじめに	3	仕様	26
安全に関する定義	3	発電機の仕様	26
重要な安全上のご注意	4	エンジンの仕様	26
燃料の安全性	6	オイルの仕様	26
安全ラベル	7	燃料の仕様	26
安全シンボルマーク	8	温度仕様	26
操作記号	9	図 A 部品図	27
クイックスタートラベルの記号	10	図 A 部品リスト	28
コントロールと機能	11	図 E 部品図	29
発電機	11	図 E 部品リスト	30
コントロールパネル	12	図 F 部品図	31
インテリゲージ	13	図 F 部品リスト	32
組み立て	15	図 G 部品図	33
開梱	15	図 G 部品リスト	34
緩衝材の取り外し	15	図 H 部品図	35
バッテリーの接続	15	図 H 部品リスト	36
燃料の追加	17	図 B 部品図	37
接地	18	図 B 部品リスト	38
操作	18	配線図	40
発電機の設置場所	18	トラブルシューティング	41
サージ保護	19		
エンジンの始動	19		
電気負荷の接続	20		
発電機に過負荷をかけない	20		
エンジンの停止	21		
発電機の移動	21		
高地での操作	21		
メンテナンス	22		
発電機のクリーニング	22		
エンジンオイルの交換	22		
スパークプラグの清掃と調整	22		
エアフィルターの清掃	23		
スパークアレスタの清掃	23		
ガバナーの調整	23		
メンテナンススケジュール	23		
保管	24		
短期保管 (最大30日間)	24		
中期保管 (30日～1年)	24		
長期保管 (1年以上)	24		
保管場所からの取り出し	25		

はじめに

この度は、Champion Power Equipment (CPE) 製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。CPEは、すべての製品を厳格な仕様とガイドラインに従って設計、製造、サポートしています。適切な製品知識、安全な使用、定期的なメンテナンスにより、本製品は長年にわたり満足のいくサービスを提供することができます。

本取扱説明書に記載されている情報の正確さ、完全さには万全を期しておりますが、本製品および本書類は、事前の通知なしにいつでも変更、修正、改良する権利を有します。

CPEは、当社の製品がどのように設計、製造、操作、および保守されているか、また、操作者および発電機の周囲にいる人々に安全を提供できているかを非常に重視しています。したがって、使用前にこの製品マニュアルおよびその他の製品資料を十分に確認し、製品の組み立て、操作、危険性、メンテナンスについて十分な認識と知識を持つことが重要です。

使用前に、適切な安全手順および操作手順を十分に理解し、本製品を操作する予定の他の人々にも十分に理解してもらうようにしてください。本製品を使用する際は、事故や物的損害、傷害が発生しないよう、常に常識の範囲内で慎重に行ってください。CPE製品を末永くご愛用いただき、ご満足いただけることを願っております。

CPEに部品および/またはサービスについてお問い合わせの際は、製品の完全なモデル番号およびシリアル番号をお知らせいただく必要があります。製品の銘板ラベルに記載されている情報を以下の表に転記してください。

技術サポート
お客様相談窓口 0120-829-859
型式
500559-J
シリアルナンバー
購入日
購入場所

安全に関する定義

安全シンボルの目的は、起こりうる危険に注意を促すことです。安全シンボルとその説明には、十分な注意と理解が必要です。安全警告は、それ自体で危険を排除するものではありません。安全シンボルが示す指示や警告は、適切な事故防止対策の代用となるものではありません。

▲ 危険

このマークは、回避しなければ死亡または重傷に至る危険な状況を示します。

▲ 警告

このマークは、回避しなければ死亡または重傷に至る可能性のある危険な状況を示しています。

▲ 注意

このマークは、この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷または中程度の傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。

🗨️ 注意

このマークは、危険とは関係ないが重要であると考えられる情報を示しています。(物的損害に関するメッセージなど)

重要な安全上の注意

▲ 危険

発電機の排気ガスには、無色、無臭の有毒ガスである一酸化炭素が含まれています。一酸化炭素を吸うと、吐き気、めまい、失神、または死に至ることがあります。めまいや脱力感を感じ始めたら、すぐに新鮮な空気のある場所へ移動してください。

発電機は、屋外の換気の良い場所でのみ操作してください。屋外では、換気の良い場所で排気を行います。

屋内では、絶対に発電機を操作しないでください。車庫、地下室、納戸、小屋、囲いのある建物の内部で発電機を運転しないでください。キャンピングカー等を含む、いかなる建物内でも発電機を運転しないでください。排気ガスを、窓、ドア、換気口、その他の閉め切った場所から排気ガスが入らないようにしてください。

▲ 危険

室内で発電機を使用すると、数分で死に至る可能性があります。発電機の排気ガスには一酸化炭素が含まれています。これは目に見えず、匂いもしない毒です。

ドアや窓が開いていても、家やガレージの中では絶対に使用しないでください。

必ず屋外で、窓、ドア、換気口から離れた場所で使用してください。



電池式の一酸化炭素警報器、または電池バックアップ付きのプラグイン式一酸化炭素警報器をメーカーの指示に従って設置してください。

▲ 警告

発電機にはスパークアレスタ（火花防止装置）が内蔵されていますが、火災を防止するため、乾燥した草木から最低1.5 mの距離を保ってください。

▲ 危険

本機を操作する際は、ガードを取り付けてください。回転する部品が手、足、髪、衣服および / またはアクセサリに絡まる可能性があります。外傷性切断または重度の裂傷に至る可能性があります。

回転部分に手や足を近づけないでください。長い髪は束ね、アクセサリは外してください。ゆったりした衣服、ぶら下がったひも、引っかかる恐れのあるものを身につけないでください。

▲ 危険

発電機は強力な電圧を発生させます。

裸のワイヤーやレセプタクルに触れないでください。摩耗、損傷、ほつれのある電気コードは使用しないでください。

雨天時に発電機を操作しないでください。子供や資格のない人に発電機の操作や修理をさせないでください。

湿気が多い場所や、金属デッキのような導電性物質を含む場所では、漏電遮断器（ELCB）を使用してください。

ご家庭の電気系統に接続するには、以下のものがが必要です。電気工事事務局が設置し、管轄当局が承認した30Aトランスファースイッチが必要です。接続は、発電機を商用電源から切り離し、適用されるすべての法律と電気規則に準拠する必要があります。

▲ 警告

発電機を医療や生命維持のために使用しないでください。

緊急の場合は、すぐに119に電話してください。本製品を生命維持装置や生命維持器具の電源として使用しないでください。

本製品を医療機器や医療器具の電源として使用しないでください。

あなたやあなたの家庭で電気機器に依存して生活している人がいる場合は、直ちに電気供給者に連絡してください。

停電により、ご本人またはご家族の誰かが医療上の緊急事態に陥った場合は、直ちに電気供給者に連絡してください。

▲ 警告

取り外したスパークプラグワイヤーから火花が生じ、火災や感電の原因となることがあります。

発電機を整備する場合：

スパークプラグワイヤを外し、プラグや他の金属物に接触しない場所に置きます。

プラグを取り外した状態で火花を確認しないでください。

承認されたスパークプラグテスターのみを使用してください。

▲ 警告

走行中のエンジンは熱を発生します。接触すると重度の火傷を負う恐れがあります。可燃物は接触すると発火する恐れがあります。

高温の表面には触れないでください。

高温の排気ガスに触れないでください。

触れる前に機器を冷ましてください。

十分な冷却を確保するため、四方に少なくとも91.4cm(3フィート)の空間を確保してください。

可燃性の材料から少なくとも1.5 m (5 フィート) の空間を確保してください。

▲ 警告

リコイルコードが急激に引き込む際、手や腕がエンジンの方に引っ張られ、手を放すよりも早く引き込まれます。その際、骨折、打撲、捻挫の恐れがあります。意図せずに始動すると、もつれ、外傷性切断、裂傷に至る可能性があります。

エンジンを始動するときは、抵抗が感じられるまでリコイルコードをゆっくり引き、キックバックを避けるために素早く引いてください。

電気機器のプラグが接続され、電源が入っている状態でエンジンの始動や停止を行わないでください。

▲ 注意

発電機の運転容量を超えると、発電機やそれに接続された電気機器に損傷を与える可能性があります。

発電機に過負荷をかけないでください。

ガバナ回転数を変更しないでください。いかなる方法でも発電機を改造しないでください。

▲ 注意

発電機を始動し、エンジンが安定してから電気負荷を接続します。

電気機器をオフの位置で接続し、操作のためにそれらをオンにします。

発電機を停止する前に、電気機器の電源を切り、接続を外します。

▲ 注意

発電機の不適切な処理や使用は、発電機を損傷し、寿命を縮めたり、保証を無効にする可能性があります。

発電機は、意図された用途にのみ使用してください。

平らな場所でのみ操作してください。

発電機を過度の湿気、ほこり、汚れにさらさないでください。

冷却スロットを塞ぐものを置かないでください。

接続されたデバイスが過熱した場合は、デバイスの電源を切り、発電機から取り外してください。

以下の場合、発電機を使用しないでください：

- 電気出力が失われる。
- 機器が火花を散らす、煙が出る、または炎を発生する。
- 装置が過度に振動する。

燃料の安全性

⚠ 危険

ガソリン、ガソリンの蒸気、プロパン (LPガス) は非常に可燃性が高く、爆発する性質があります

火災や爆発により、重度の火傷を負ったり死亡したりする恐れがあります。

ガソリンおよびガソリン蒸気:

- ・ガソリンは非常に可燃性が高く、爆発する性質があります。
- ・ガソリンに引火すると、火災や爆発を引き起こす恐れがあります。
- ・ガソリンは液体燃料ですが、その蒸気に引火することがあります。
- ・ガソリンは皮膚を刺激するため、皮膚や衣服にこぼれた場合は、直ちに洗浄する必要があります。
- ・ガソリンには特有の臭いがあり、漏れの可能性を素早く発見するのに役立ちます。
- ・ガソリンは周囲温度によって膨張または収縮します。気温が上昇するとガソリンが膨張するため、絶対にガソリンを満タンにしないでください。
- ・石油ガス火災では、燃料供給バルブをオフにしない限り、炎を消さないでください。消火しても燃料の供給が止められなければ、爆発の危険が生じます。

ガソリンを入れる、または抜くとき:

タバコに火をつけたり、吸ったりしないでください。

発電機の電源を切り、最低2分間冷やしてからガソリンキャップを取り外します。必ずゆっくりとキャップを緩め、タンク内の圧力を逃がしてください。

ガソリンの給油や抜き取りは、屋外の換気の良い場所で行ってください。

ガソリンスタンドで発電機に直接ガソリンを入れないでください。燃料を発電機に移す際は、必ず認可された容器を使用してください。

ガソリンを入れ過ぎないでください。

ガソリンを火花、裸火、種火、熱、その他の着火源から常に遠ざけてください。

発電機を始動する場合:

損傷した発電機を始動させないでください。

ガソリンキャップ、エアフィルター、スパークプラグ、フューエルライン、排気装置が適切に設置されていることを必ず確認してください。

エンジンを始動する前に、必ずこぼれたガソリンを完全に蒸発させてください。

発電機が平らな地面にしっかりと置かれていることを常に確認してください。

発電機を操作する場合:

運転中に発電機を動かしたり、傾けたりしないでください。

発電機を運搬または修理する場合

燃料バルブがOFFの位置にあり、ガソリンタンクが空であることを必ず確認してください。

LPG対応モデルの場合、LPGボンベが取り外され、発電機から離れた場所にしっかりと保管されていることを確認します。

スパークプラグワイヤーを外します。

発電機を保管する場合:

火花、裸火、パイロットランプ、熱、その他の着火源から離して保管します。発電機、ガソリンまたはLPGボンベを、炉、湯沸かし器、その他熱を発生したり、自動点火のある電気器具の近くに保管しないでください。

⚠ 危険

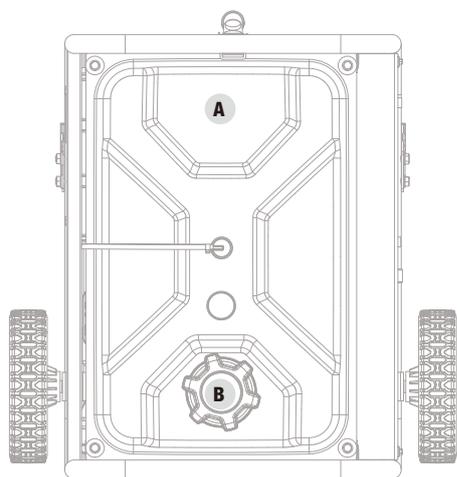
エンジンの運転中は、ガソリン容器、ガソリンタンク、LPGボンベまたは可燃物を排気経路に絶対に置かないでください。

⚠ 警告

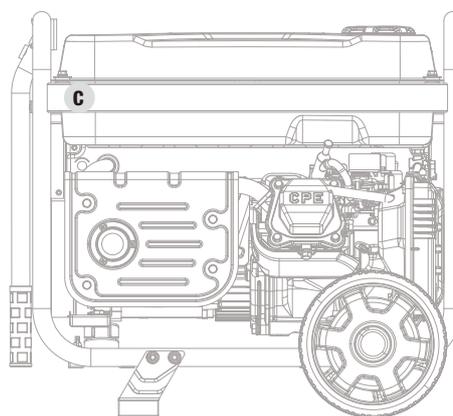
ガソリン容器、ガソリンタンク、LPGコネクターホース、LPGボンベ、その他の燃料品については、壊れたり、切れたり、破れたり、損傷しているものは絶対に使用しないでください。

安全ラベル

これらのラベルは、重大な人身事故を引き起こす可能性のある潜在的な危険について警告しています。注意深くお読みください。ラベルがはがれたり、読みにくくなった場合は、技術サポートまでご連絡ください。



上部



側面

ラベル		内容
A		一酸化炭素の危険 安全シンボル
B		燃料
C		表面の過熱

安全シンボルマーク

本製品には、以下のような記号が使用されている場合があります。これらの記号の意味をよく理解し、正しくご使用ください。これらの記号を正しく理解することで、より安全に製品を操作することができます。

マーク	意味
	取扱説明書を読む：けがの危険を減らすため、本製品を使用する前に必ず取扱説明書を読み、理解してください。
	クリアランス：四方の可燃物を発電機から1.5m以上離してください。マフラーや排気ガスの熱により、可燃物に引火する恐れがあります。
	接地：操作の前に、地域の電気技師に相談して、接地の必要条件を決定してください。
	感電：乾燥した環境で使用し、安全な手順を守らないと、感電する恐れがあります。建物への接続が不適切な場合、電流がユーティリティラインに逆流し、感電の危険があります。建物に接続する際は、必ず転送スイッチを使用してください。
	火災 / 爆発：燃料およびその蒸気は非常に可燃性が高く、爆発する性質があります。火災や爆発は、重度の火傷や死亡事故を引き起こす可能性があります。燃焼を防止するため、発電機をすべての物体から少なくとも1.5 m離してください。
	表面の過熱：怪我や損傷の危険を避けるため、高温の表面には触れないようにしてください。
	直火注意：燃料およびその蒸気は、非常に常に可燃性が高く、爆発する性質があります。喫煙、裸火、火花、種火、熱、その他の着火源から燃料を遠ざけてください。
	濡れた場所で使用しない：雨にさらしたり、湿気の多い場所で使用しないでください。

操作記号

本製品には、以下のような記号が使用されている場合があります。これらの記号の意味をよく理解してください。これらの記号を正しく理解することで、より安全に製品を操作することができます。

シンボル	意味
	オン
	ストップ/オフ
	サーキットブレーカーリセット / プッシュ
	サーキットブレーカーリセット / フリップ
	ニュートラルフローティング。ニュートラル回路は、発電機のフレーム/アースに電氣的に接続されていません。

シンボル	意味
	燃料 / ガソリンバルブ オン/オフ
	チョーク
	稼働
	アース端子
	DC12V

クイックスタートラベルの記号

本製品には、以下のような記号が使用されている場合があります。これらの記号の意味をよく理解してください。これらの記号を正しく理解することで、より安全に製品を操作することができます。



エンジンの始動

⚠ 危険

火災や爆発により、重度の火傷を負ったり死亡したりする恐れがあります。

1. オイルレベルを点検します。
推奨オイルは10W-30です。
2. ガソリンレベルを点検します。
ガソリンを入れる際は、オクタン価 87、およびエタノール含有量が10%以下のものを使用してください。
3. 燃料バルブを「ON」位置に回します。
4. エンジンスイッチを「ON」位置に押します。
5. チョークレバーを「CHOKE」の位置に動かします。
6. リコイルスターターを引きます。
7. チョークレバーを「RUN」の位置に動かします。
8. 希望する装置のプラグを差し込みます。

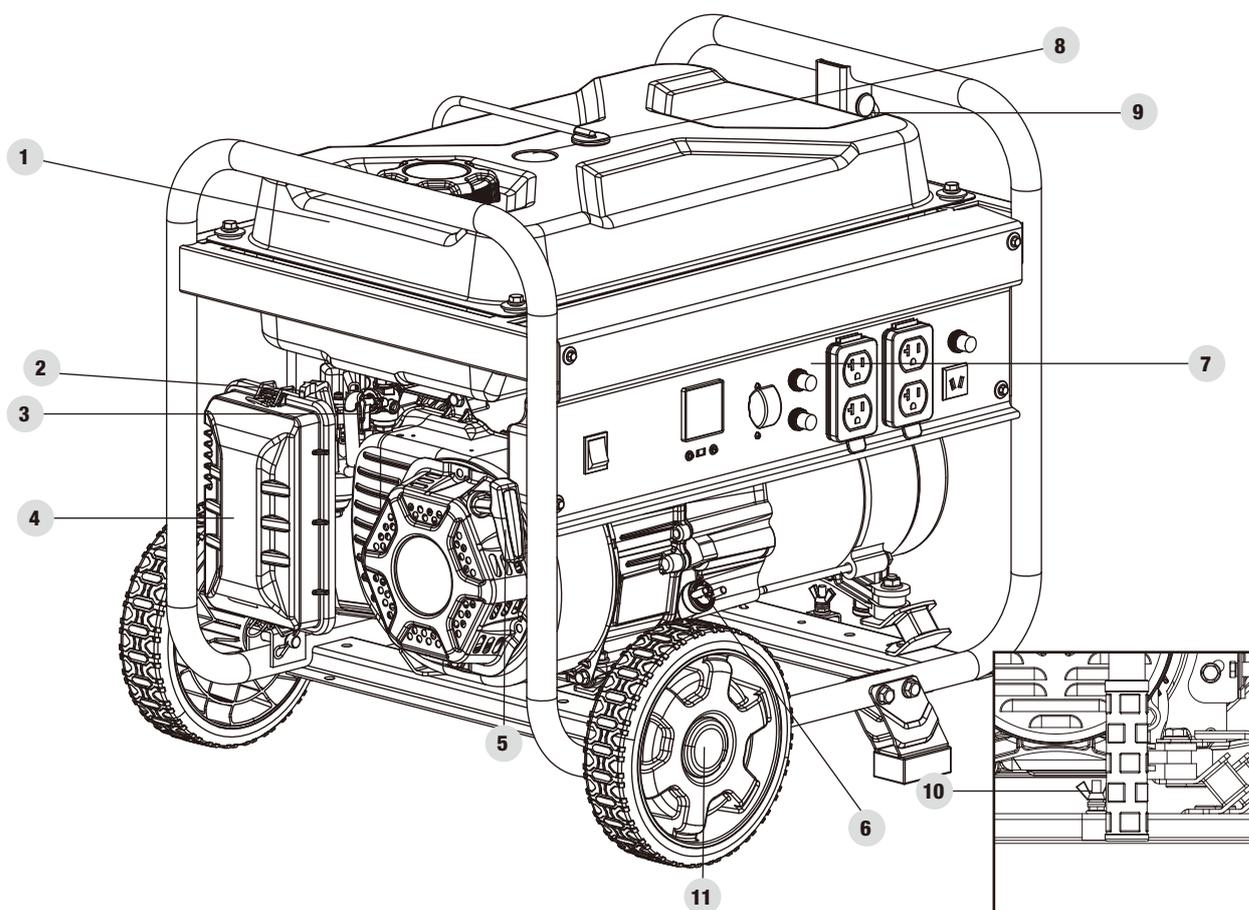
エンジンの停止

1. 接続されているすべての電気負荷をオフにし、プラグを抜いてください。
2. エンジンスイッチを「OFF」位置に押します。
3. 燃料バルブを「OFF」位置に回します。

コントロールと機能

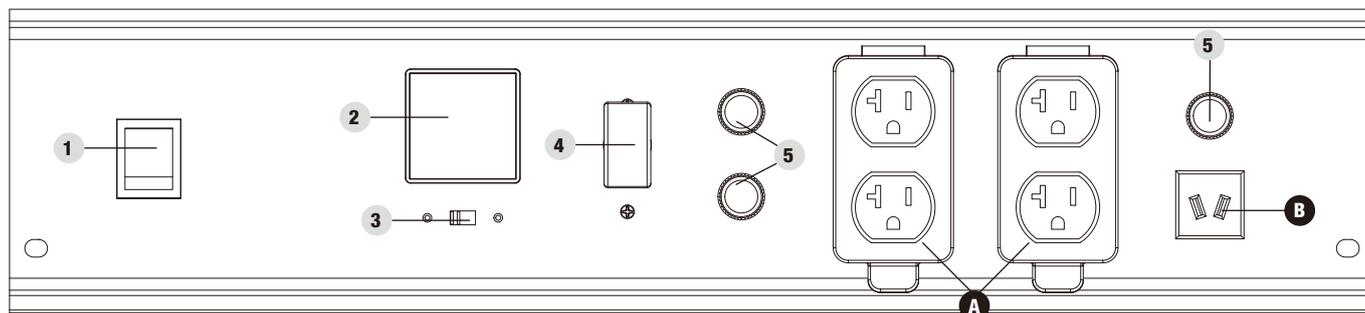
発電機を操作する前に、この取扱説明書をお読みください。制御装置や機能の場所と機能をよく理解してください。将来参照するために、この取扱説明書を保存してください。

発電機



1. ガソリンタンク - 4.7 gal. (17.8 L)
2. チョーク-エンジン始動に使用します。
3. 燃料バルブ - エンジンへの燃料供給をオン/オフするのに使用します。
4. エアフィルター - 吸入空気中の塵や埃をフィルタリングしてエンジンを保護します。
5. リコイルスターター - 手でエンジンを始動するときに使用します。
6. オイルフィルキャップ / オイルゲージ - オイルレベルの点検と充填に使用します。
7. コントロールパネル-「コントロールパネル」の項を参照下さい。
8. 燃料ゲージ-燃料タンク内のガソリン量を示します。
9. 折りたたみ式ハンドル-本機を持ち上げたり、ホイールで転がしたりして移動する際に使用します。本機をつり上げて運んだりするために使用しないでください。
10. 接地端子-地域の接地規制については、電気技術者にご相談ください。
11. パンクしないホイール- 8インチ(20.3cm)

コントロールパネル



1. エンジンスイッチ-発電機を始動モードまたは停止モードにするために使用されます。
2. インテリゲージ
3. 50/60 Hz周波数切り替えスイッチ。
4. サーキットブレーカー (フリップリセット) - 電氣的過負荷から発電機を保護します。
5. サーキットブレーカー (プッシュリセット) - 電氣的過負荷から発電機を保護します。

レセプタクル	
A	 AC100V、20A(5-20Rデュプレックス) 4 個AC 100V、20A、単相、50/60Hzの電気負荷を操作するための電力を供給するために使用できます。
B	 DC12V、10ADC12V、10Aの電気負荷を操作するための電力を供給するために使用できます。

⚠ 警告

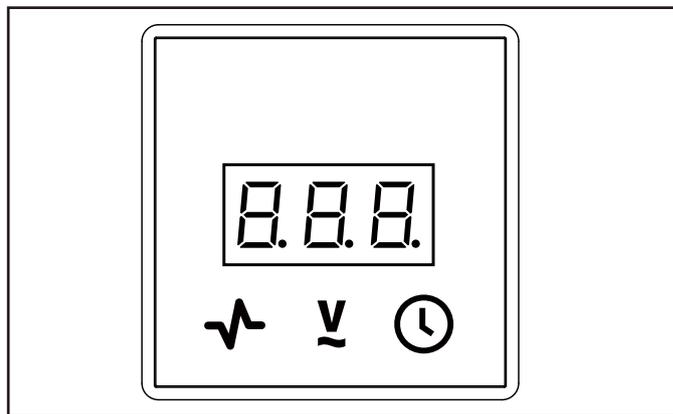
デバイスを充電する際は、発電機の排気側に置かないでください。排気による極端な熱は、デバイスを損傷し、火災を引き起こす可能性があります。

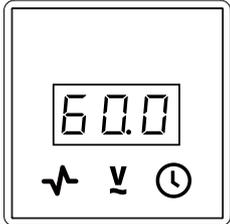
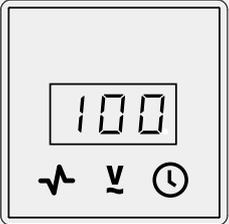
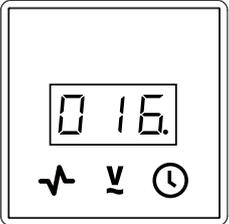
エンジンの排気に長時間さらされると、重傷を負ったり死亡したりする可能性があります。

インテリゲージ

周波数(ヘルツ)、電圧、総運転時間を表示する3モードのデジタルメーターです。

LCDは各モードを数秒間表示し、その後自動的に循環します。



モード	説明	
 周波数 (Hz)	ヘルツ単位の出力周波数	
	例：60.0ヘルツ	
 電圧 (V)	発電機の出力電圧	
	例：100ボルト	
 総稼働時間(時間)	初回運転からの発電機の総運転時間	
	例：16時間	

付属部品

アクセサリ

- オイル漏斗..... 1
- エンジンオイル 20.3 fl. oz. (600 ml)

組立部品

車輪

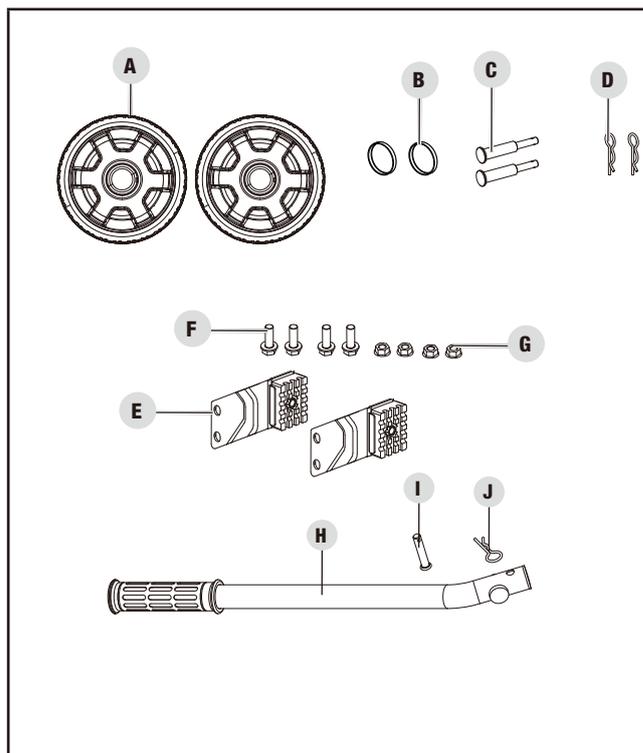
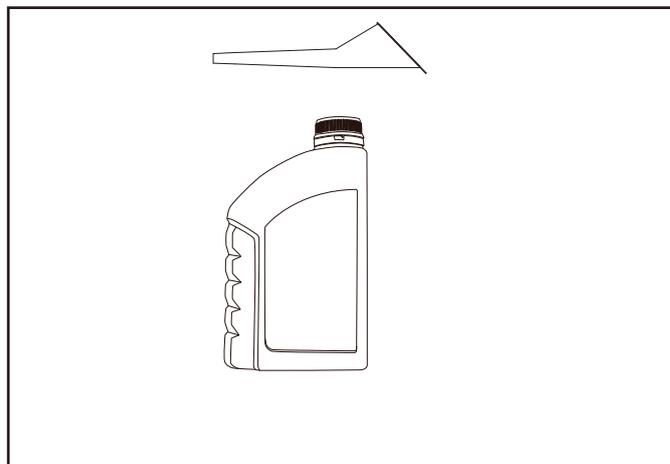
- 8インチ (20.3cm) パンクしないホイール (A) 2
- ホイールハブキャップ (B)..... 2
- ロールピン (C)..... 2
- ラージ R-クリップ (D)..... 2

サポート脚

- 振動マウント付きサポート脚 (E) 2
- フランジボルト (M8×40) (F) 4
- フランジロックナット (M8) (G) 4

折りたたみハンドル

- ハンドル (H) 1
- ショートピン (I) 1
- スモール R-クリップ (J) 1



組み立て

発電機は、組み立てが必要です。運転前に、燃料とオイルを適切に整備する必要があります。

発電機の組み立てに関してご不明な点がございましたら、技術サポートまでご連絡ください。シリアル番号とモデル番号をご用意ください。

開梱

1. 出荷用梱包箱をしっかりとした平らな場所に置きます。
2. 発電機以外のすべてを箱から取り出します。
3. 箱の角を上から下へ注意深く切り取ります。各辺を平らに広げ、発電機の組み立て作業するための面を確保します。

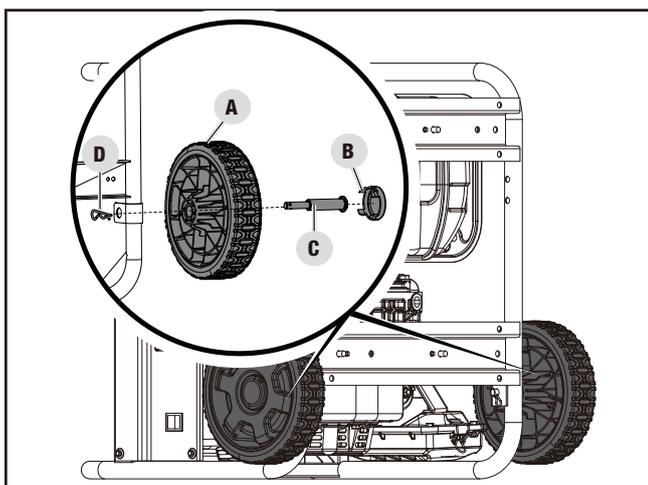
ホイールキットの取り付け

▲ 注意

本ホイールキットは公道走行用ではありません。

ホイールキットの取り付け

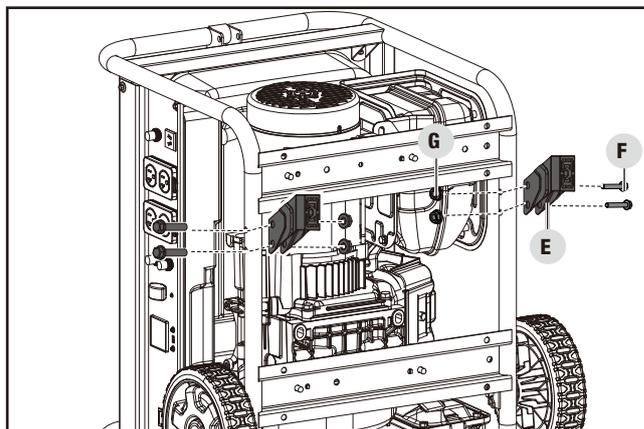
1. 燃料とオイルを追加する前に、発電機を図の様に倒してください。
2. ロールピン(C)を外側からホイール(A)に通します。
3. ロールピンをフレームのマウントポイントに通します。
4. R-クリップ(D)をロールピンの端の穴に挿入します。
5. ホイールにハブキャップ(B)を取り付けます。
6. これを繰り返して、2つ目のホイールを取り付けます。



サポート脚を取り付ける

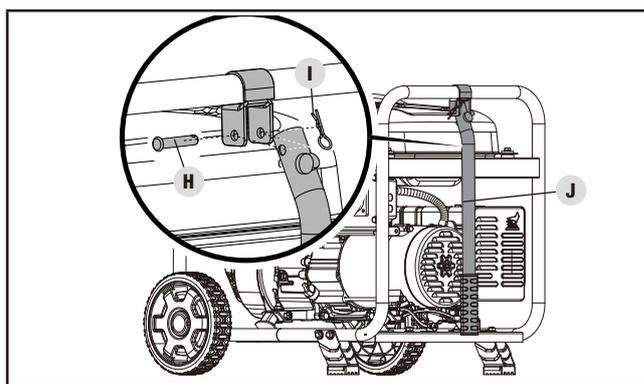
1. フランジボルト(F)およびフランジロックナット(G)を使用して、サポート脚(E)を発電機フレームに取り付けます。ボルト(F)およびフランジロックナット(G)で発電機フレームに取り付けます。

2. 発電機がホイールとサポート脚の上に乗るように、ゆっくりと後ろに倒します。



ハンドルの取り付け

1. ハンドル(J)をフレームの取り付け溝の中に入れ、フレームに取り付けます。
2. ショートピン(H)を使ってハンドルをフレームに固定します。
3. ショートピンの端にRクリップ(I)を付け、しっかりと固定します。



エンジンオイルの追加

▲ 警告

推奨される種類と量のオイルが適切に充填される前に、エンジンをクランキングまたは始動しないでください。これらの指示に従わなかった結果、発電機が損傷した場合、保証は無効になります。

🗨 注意

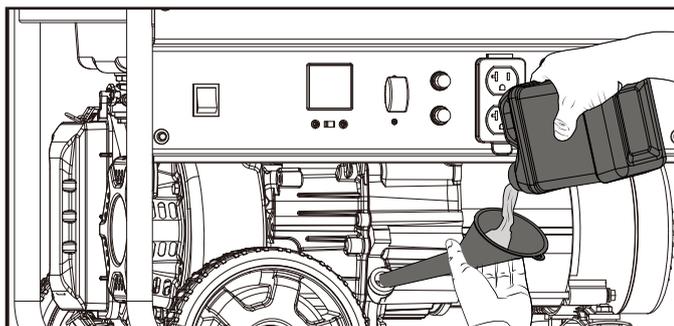
発電機のローターには、密封された潤滑済みボールベアリングが搭載されています。ベアリングの寿命まで追加潤滑は不要です。

注意

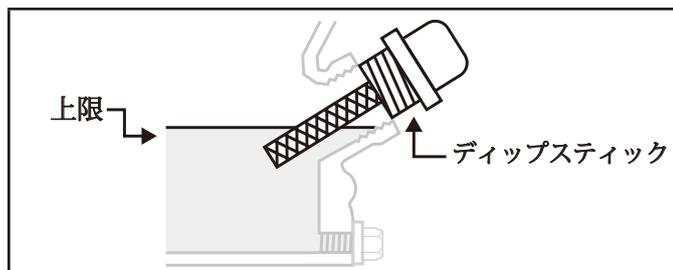
一般的な使用に推奨される油種は自動車用オイル10W-30です。ただし、「推奨エンジンオイルの種類」の表に記載されている従来型オイルを使用することができます。エンジンの慣らし運転期間の最初の5時間を含め、一般的な使用には、「推奨エンジンオイルの種類」表に記載されている従来型オイルを使用することができます。極端な温度で発電機を運転する場合は「推奨エンジンオイルの種類」の表を参照してください。

推奨エンジンオイルの種類								
		10W-30						
		5W-30			10W-40			
		5W-30 Full Synthetic						
°F	-20	0	20	40	60	80	100	120
°C	-28.9	-17.8	-6.7	4.4	15.6	26.7	37.8	48.9
	周囲温度							

1. 発電機を平らで水平な場所に置きます。
2. オイルフィルキャップ / ディップスティックを取り外してオイルを補充します。
3. 漏斗を使用して、最大 20.3 fl. oz. (600 ml) のオイル (付属) を入れます。入れ過ぎないでください。



4. 使用前にエンジンオイルのレベルを点検し、必要に応じて補充してください。

**注意**

オイルを入れた際、目視点検では、オイルが充填穴から1-2目盛ほど余裕があります。ディップスティックを使ってオイルレベルを点検する場合、点検中にディップスティックをねじ込まないでください。

注意

慣らし運転期間中は、オイルレベルを頻繁に点検してください。推奨整備間隔については、「メンテナンス」の章を参照してください。

注意

このエンジンにはオイル低下防止装置が装備されており、クランクケース内のオイルレベルが閾値を下回ると停止します。

注意

最初の5時間はユニットの慣らし運転です。慣らし運転期間中は、定格ワット数の50%以下にとどめ、時々負荷を変化させてスターターの巻線の加熱と冷却を行います。また、負荷を調整することで、エンジン回転数がわずかに変化し、ピストンリングの座りが良くなります。5時間の慣らし運転の後、オイルを交換してください。

注意

化学合成油は、5時間の初期慣らし運転の後でも使用できます。化学合成油を使用しても、推奨オイル交換間隔は短くなりません。完全合成の 5W-30 オイルは、周囲温度が5°C 未満の寒冷時に始動性を向上させます。

燃料の追加

⚠ 危険

ガソリンの蒸気は非常に可燃性が高く、非常に爆発しやすい性質を持っています。

タバコに火をつけたり、吸ったりしないでください。火災や爆発により重度の火傷または死亡事故を引き起こす恐れがあります。燃料の充填や排出は、屋外の換気の良い場所で行ってください。発電機に直接ガソリンを入れしないでください。燃料をジェネレータに移すには、認可された容器を使用してください。

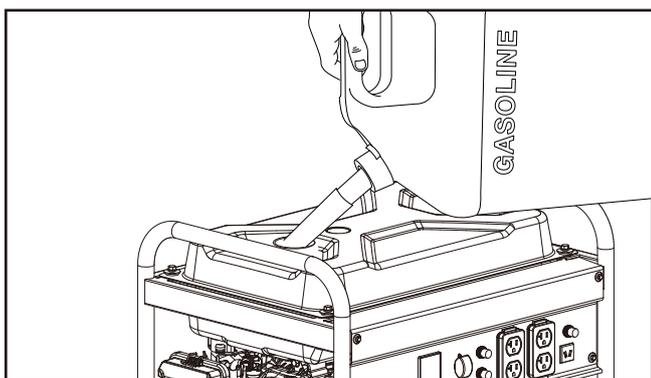
破損、切断、引き裂き、損傷があるガソリン容器、ガソリンタンク、その他の燃料タンクは、絶対に使用しないでください。ガソリンタンクに燃料を入れ過ぎないでください。燃料は常に火花、裸火、種火、熱源、その他の着火源から燃料を遠ざけてください。

オクタン価が87以上で、エタノールの含有量が容積比10%以下の、きれいで新しい無鉛レギュラーガソリンを使用してください。

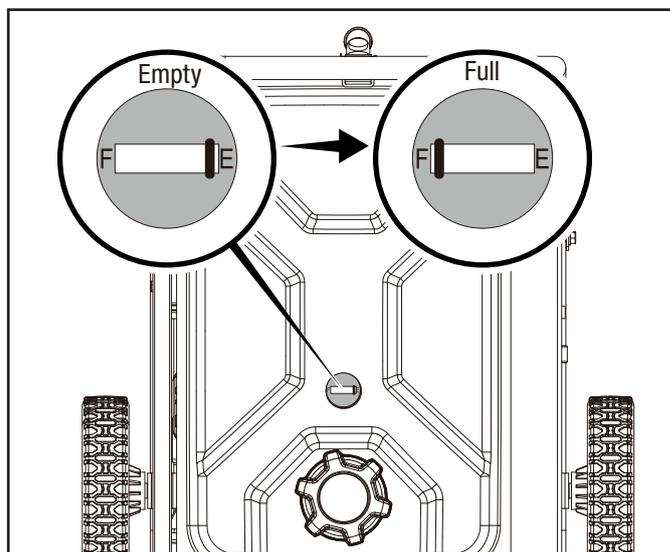
ガソリンにオイルを混ぜないでください。

1. ガソリンキャップを外します。
2. タンクにゆっくりとガソリンを入れます。ガソリンが画面上の赤丸に達すれば満タンです。ガソリンを入れ過ぎないでください。

ガソリンは膨張するため、タンク内に最低6.4mm以上空けることを推奨します。ガソリンを入れ過ぎると、膨張の結果ガソリンがタンクから押し出され、発電機の安定した運転状態に影響を与える可能性があります。



3. おおよその燃料レベルは燃料タンク上部の燃料計に示されます。



4. ガソリンキャップを締め、こぼれた燃料を拭き取ります。

⚠ 注意

オクタン価87以上の無鉛ガソリンを使用してください。エタノールの含有量が10%以下の無鉛ガソリンを使用してください。

ガソリンを入れる時にタバコに火をつけたり、タバコを吸ったりしないでください。

オイルとガソリンを混ぜないでください。

タンクを満タンにし過ぎないでください。

ガソリンを膨張するため、タンク上端から約6.4mm下の位置まで給油してください。

ポンプで直接発電機にガソリンを注入しないでください。ガソリンを発電機に移すには、認可された燃料容器を使用してください。

室内でガソリンを充填しないでください。

エンジンが作動中または高温の状態ではタンクにガソリンを入れしないでください。

⚠ 警告

燃料スクリーンを通してガソリンを注ぐ速度が速すぎると、発電機と作業者にガソリンが飛び散る恐れがあります。

注意

発電機エンジンは、10%以下のエタノール混合ガソリンで十分に機能します。エタノールとガソリンの混合ガソリンを使用する場合、注意すべき問題がいくつかあります：

- エタノールとガソリンの混合物は、ガソリン単独よりも多くの水を吸収します。
- これらのエタノール混合物は最終的に分離し、タンク、燃料バルブ、キャブレターに水や粘着質の液体を残す可能性があります。その場合、汚染されたガソリンがキャブレターに吸い込まれ、エンジンに損傷を与えたり、危険な状態を引き起こしたりする恐れがあります。
- 燃料安定剤を使用する場合は、それがエタノール-ガソリン混合燃料に対応するように調合されていることを確認してください。
- 体積比10%以上のエタノール混合ガソリン、不適切な保管状態のガソリン、不適切に調合された安定剤の使用による損傷や危険は、メーカーの保証対象外です。

使用後は必ずガソリンの供給を止め、エンジンを空ぶかしすることを勧めます。長期間使用しない場合は、保管上の注意を参照してください。

接地

感電を防ぐため、発電機は適切なアースに接続する必要があります。

警告

発電機を適切に接地しないと、感電する恐れがあります。

発電機のフレームには接地端子が設けられています。(端子の位置については、「コントロールと機能」を参照)。遠隔接地の場合、発電機の接地端子と地面に打ち込んだ銅棒の間に太いゲージ(最低12AWG)の銅線を接続します。

地域の電気規範に準拠していることを確認するため、資格を持つ電気技師に相談することを強くお勧めします。

ニュートラルフローティング*

- ニュートラル回路は、発電機のフレーム/グランドに電氣的に接続されていません。
- 発電機(固定子巻線)は、フレームおよびACレセプタクルのアースピンから絶縁されています。
- 接地されたレセプタクルピン接続を必要とする電気機器は、レセプタクルグランドピンが機能していないと機能しません。

フレームに接着されたニュートラル回路*

- ニュートラル回路は、発電機のフレーム/グランドに電氣的に接続されています。

- ニュートラル回路は、発電機のフレーム/グランドに電氣的に接続されています。発電機システムのアースは、オルタネーター下部のクロスメンバーフレームに接続されています。システムグラウンドはACニュートラルワイヤーに接続されています。

* 指定の接地タイプについては、仕様の項を参照してください。

操作**発電機の設置場所****警告**

建物、ガレージ、地下室、物置、囲い、または区画の中では、絶対に発電機を操作しないでください。

地下室、狭い場所、物置、囲い、またはコンパートメント内では、絶対に発電機を操作しないでください。レクリエーション用車両の発電機コンパートメントを含みます。

SUV、キャンピングカー、トレーラー、トラックの荷台(通常の側面、平らな側面、またはその他の構成)、階段の下、吹き抜けの下、壁や建物に隣接した場所など、発電機の適切な冷却が出来ない場所、またはマフラーシステムからの排気の適切な出口を確保できない場所、排気の流れが適切に出ないような場所では絶対に発電機を運転または始動しないでください。

雨や雪などの濡れた天候の下で発電機を運転したり、保管したりしないでください。濡れた状態で発電機を使用すると、感電による重大な人身事故や死亡事故を招く恐れがあります。地域の法令によっては、発電機を建設現場で使用する場合があります。その地域の電力会社への登録が義務付けられている場合があります。また、追加の規則や規制が適用される場合があります。ご使用の地域の法令をご確認ください。

発電機は常に平らな場所で操作してください。

発電機は、常に(運転中でなくても)平らで水平な場所で運転する必要があります。

発電機は、すべての可燃物から最低1.5mの空間を確保する必要があります。

また、発電機の四方には、最低91.4cmの空間を確保する必要があります。

発電機は必ず換気の良い場所に設置してください。

吸気口の近くや、排気ガスが居住空間や密閉された空間に流れ込む恐れのある場所には、絶対に発電機を置かないでください。

排気ガスが居住空間や閉め切った空間に流れ込む恐れがあります。

発電機を設置する際は、必ず風や気流を考慮してください。輸送や保管の前には、必ず発電機を適切に冷却してください。

適切な安全予防措置に従わない場合、人身事故や発電機の損傷が発生してもメーカー保証が無効になります。

▲ 警告

運転中、マフラーと排気ガスは高温になります。十分な冷却および呼吸スペースが確保されていない場合、または発電機が塞がれていたり密閉されている場合、温度が非常に高くなり、火災につながる恐れがあります。

▲ 警告

雨にさらしたり、湿気が多い場所で使用しないでください。発電機から1.5m以上離してください。マフラー表面や排気ガスの流れからの熱により、可燃物に引火する恐れがあります。

▲ 警告

雨や湿気が多い場所で使用する必要がある場合は、電気部品を適切に保護してください。

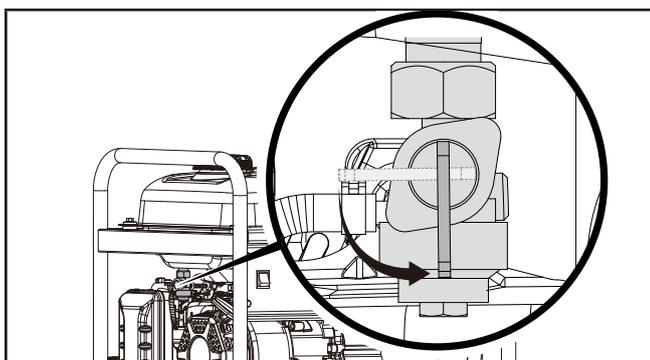
難燃性で、エンジンの排気ガスの流れに適切な換気を提供する安全キャノピーを使用することができます。

サージ保護

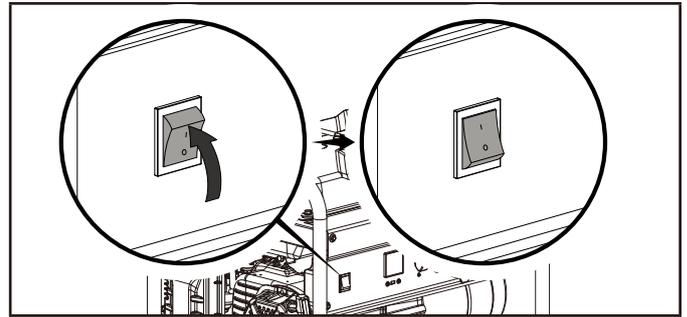
コンピューターや多くのプログラむが可能な電化製品などの電子機器には、狭い電圧範囲で動作するように設計された部品が使用されており、瞬間的な電圧変動の影響を受けます。

エンジンの始動

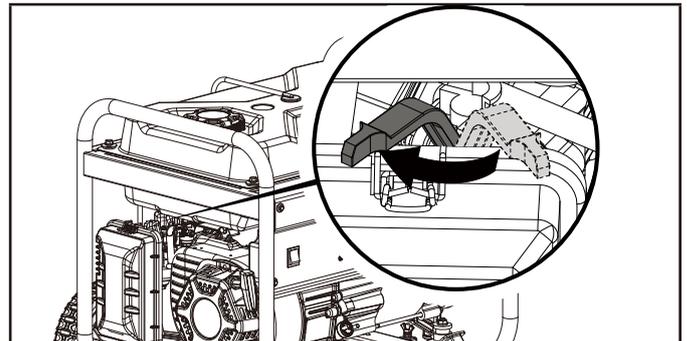
1. 発電機が平らで水平な場所にあることを確認してください。
2. 発電機から、接続されているすべての電気負荷を切り離します。電気機器を接続したまま、または電源を入れたまま、発電機を始動または停止しないでください。
3. ガソリン燃料バルブを「ON」の位置に回します。



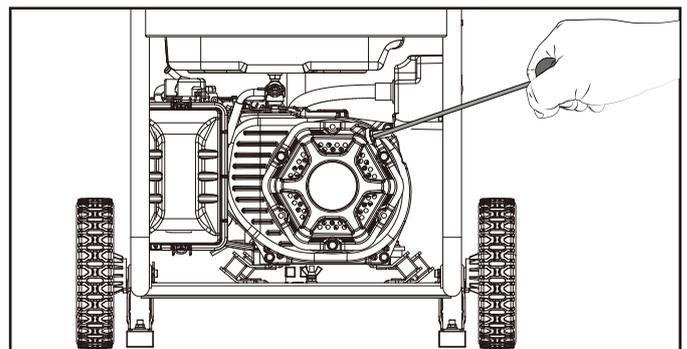
4. エンジンスイッチを「ON」位置に押しします。



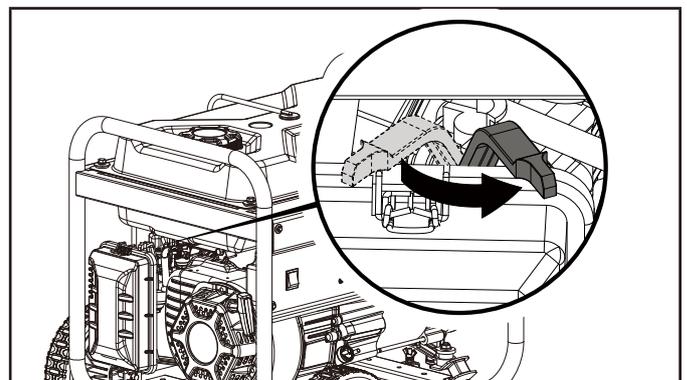
5. チョークを「CHOKE」の位置に動かします。注記: 暖まったエンジンを再始動する場合は、チョークをCHOKE位置の75%に動かします。



6. 抵抗が感じられるまでスタータコードをゆっくり引き、その後急速に引きます。



7. エンジンが始動したら、すぐにチョークを2～5秒かけて「RUN」の位置に動かします。



8. 電気負荷を接続します。

注意

リコイルスターターを1回引く間だけ、チョークを「CHOKE」の位置に保ってください。チョークを「CHOKE」にしたまま、リコイルスターターを3回まで引いてください。チョークが効き過ぎると吸入空気が不足し、スパークプラグが汚れるか、エンジンがフラッシングします。これによりエンジンが始動しなくなります。

注意

周囲温度が30°C (86°F) を超える高温のエンジンでガソリンを再始動する場合は、リコイルスターターを1回引く間だけ、チョークを「CHOKE」位置の75%に保ってください。1回目の引き込み後は、リコイルスターターを最大3回引くまで、チョークを「RUN」位置に動かしてください。チョークが効き過ぎると、流入空気が不足してスパークプラグが汚れたり、エンジンがフラッシングしたりします。これによりエンジンが始動しなくなります。

注意

周囲温度が15°C未満の寒冷時でガス始動する場合、リコイル始動手順では、チョークを「CHOKE」位置の100%にしてください。チョークのかけすぎに注意してください。エンジンが始動したら、2～5秒かけてチョークレバーを徐々に「RUN」位置に動かします。

注意

エンジンは始動するが作動しない場合、発電機が平らで水平な場所にあることを確認してください。エンジンにはオイル低下センサーが装備されており、オイルレベルが限界値を下回るとエンジンが作動しなくなります。

電気負荷の接続

始動後、数分間エンジンを安定させ暖機させてください。希望するAC100ボルト単相、50/60 Hzの電気負荷にプラグを接続し、電源を入れます。

- 発電機に3相負荷を接続しないでください。
- 発電機に過負荷をかけないでください。
- 高品質で絶縁された、互換性のある(3線または4線)接地コードセットのみを使用してください。

警告

発電機の電源コードをコンセントに差し込んだり、家庭内のブレーカーパネルに接続したりしないでください。発電機を自宅の電力会社の送電線に接続したり、別の電源に接続したりすることは、「逆潮流」と呼ばれ、多くの地域や自治体で違法とされている危険な行為です。この操作を誤ると、発電機や電化製品が損傷し、重大な人身事故が発生する恐れがあります。

また、近隣で停電が発生し、電力会社の作業員が電力を復旧しようとした際に、不意に電線上の高電圧に遭遇し、致命的なショックを受ける可能性があります。

けがの有無にかかわらず、適用される法律や規範に従わずに不適切に設置された場合、罰金や電力会社による停電の対象となることがあります。

このような行為があなたの家庭で発見された場合、電力会社はあなたの家庭の電力を停止する可能性があります。

発電機が建物の電気系統に接続される場合、その接続は、発電機の電力を電力会社の電力から分離する必要があります。発電機の電気が電力会社の送電線に逆流しないようにする責任は、発電機使用者にあります。この接続を適切に行うには、最寄りの電力会社または有資格の電気技師にご相談ください。

発電機に過負荷をかけない

以下の簡単な手順に従って、目的に必要な稼働ワットと始動ワットを計算してください：

1. 同時に稼働させる予定の電気機器を選択します。
2. これらの機器の稼働ワットを合計します。これは、機器を作動させ続けるために必要な電力量です。
3. ステップ1で特定したすべての機器のうち、最も高い始動ワット数を特定します。この数値をステップ2で計算した数値に加えます。始動ワット数とは、電気駆動機器を始動させるために必要な電力サージです。「電力の管理」に記載されているステップに従うことで、一度に1台の機器のみが起動することが保証されます。

電力の管理

電圧とアンペア数を次の式でワットに変換します：

ボルト×アンペア＝ワット

発電機と付属機器を長持ちさせるために、以下の手順に従ってください。以下の手順に従って電気負荷を追加してください：

1. 電気負荷が接続されていない状態で発電機を始動します。

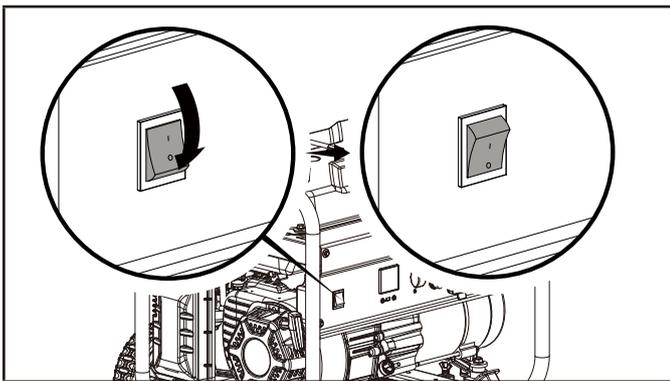
2. エンジンを数分間作動させ、温度が上がるのを待ちます。
3. すべてのサーキットブレーカーが「RUN」の位置に設定されていることを確認します。
4. プラグを差し込み、最初のアイテムの電源を入れます。最も負荷の大きいものを最初に取り付けます。
5. エンジンが安定するのを待ちます。
6. 次のアイテムのプラグを差し込み、オンにします。
7. エンジンが安定するのを待ちます。
8. 追加の各項目について、ステップ5～6を繰り返します。

注意

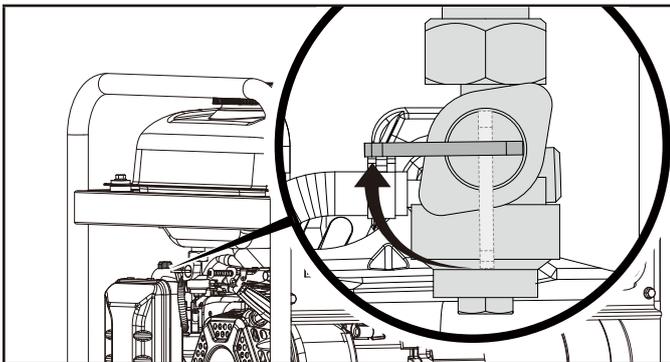
発電機に負荷を追加する場合は、絶対に指定された容量を超えないようにしてください。

エンジンの停止

1. 接続されているすべての電気負荷をオフにし、プラグを抜きます。電気機器を接続したまま、または電源を入れたまま、発電機を始動または停止しないでください。
2. エンジンと発電機の内部温度を安定させるために、発電機を無負荷状態で数分間運転します。
3. エンジンスイッチを「OFF」の位置に押します。



4. 燃料バルブを "OFF" 位置に回します。



重要: 発電機を使用しないときは、必ず燃料バルブとエンジンスイッチが「OFF」になっていることを確認してください。

注意

エンジンを2週間以上使用しない場合は、適切なエンジンと燃料の保管方法について保管の項を参照してください。

発電機の移動

注意

- 必ず発電機の電源を切り、燃料バルブが閉じていることを確認してください。
- 発電機を取り扱う前に、必ずエンジンとマフラーが冷えていることを確認してください（通常15～30分）。
- 本機を落としたり、ぶつけたり、重い物の下に置いたりしないでください。

警告

これらの指示に従わないと、人身事故や発電機の損傷につながる恐れがあります。

発電機を移動する際は、2人で本体をフレームごとに持ち上げて移動してください。

高地での操作

高地での空気の密度は海面よりも低くなります。空気質量と空燃比が低下すると、エンジン出力が低下します。エンジン出力と発電機出力は、海拔300mごとに約3.5%低下します。高地では、空燃比が濃縮されるため、排気エミッションも増加します。その他の高地での問題としては、始動が難しい、燃料消費量が増える、スパークプラグが汚れるなどがあります。

警告

推奨最低高度より低い高度で代替メインジェットを使用すると、エンジンに損傷を与える恐れがあります。低い高度で運転する場合は、元々供給されている標準メインジェットを使用する必要があります。指定された高度で誤ったエンジン構成でエンジンを運転すると、排出ガスが増加し、燃料効率と性能が低下する恐れがあります。

メンテナンス

発電機が清潔に保たれ、適切に保管されていることを確認してください。

本機は、清潔で乾燥した使用環境の、平らで平坦な場所でのみ操作してください。極端な環境、過度のほこり、汚れ、湿気、腐食性蒸気に本機をさらさないでください。

▲ 警告

損傷した発電機や欠陥のある発電機は、絶対に操作しないでください。

▲ 警告

不適切なメンテナンスは、保証を無効にします。

🗨️ 注意

排出ガス規制装置及びシステムについては、本取扱説明書の排出ガス制御保証書に記載されている整備責任を読み、理解してください。

定期整備はすべて所有者／運転者が責任を負います。すべての定期保守を適時に完了してください。発電機を運転する前に、あらゆる問題を修正してください。

発電機のクリーニング

▲ 注意

発電機に直接水を吹き付けしないでください。

水は、冷却スロットから発電機に侵入し、発電機の巻線を損傷する可能性があります。また燃料システムを汚染することもあります。

1. 湿らせた布を使用して、発電機の外面を清掃してください。
2. 柔らかい毛ブラシを使用し、汚れや油を取り除きます。
3. エアコンプレッサー (25 PSI) を使用して、発電機から汚れやゴミを取り除きます。
4. すべての通気口と冷却スロットを点検し、汚れがなく、妨がれていないことを確認します。

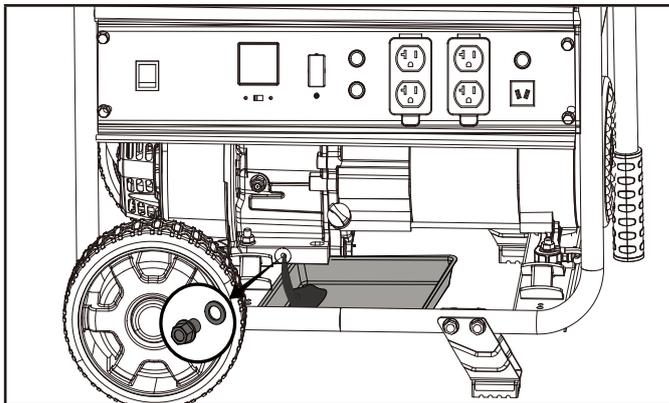
誤って始動するのを防ぐため、整備を実施する前にスパークプラグワイヤーを取り外し、接地してください。

エンジンオイルの交換

オイルの交換はエンジンが温まってから行ってください。オイルの仕様を参照して、使用環境に適したグレードを選択してください。

1. 12 mmソケットとエクステクション (付属していません) を使用して、オールドレンボルトとワッシャーを取り外します。

2. オイルを適切な容器に完全に排出させます。



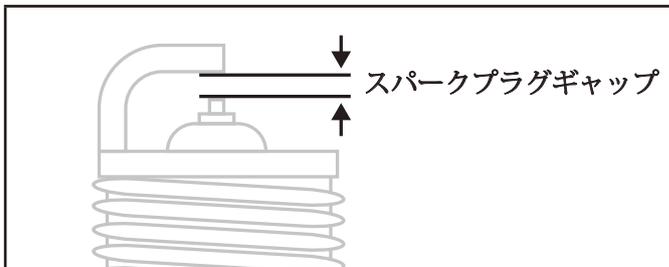
3. オールドレンボルトとワッシャーを交換します。
4. オイルフィルキャップ/ディップスティックを外してオイルを補充します。
5. 「組み立て」の項の「エンジンオイルの追加」に従ってオイルを追加します。入れすぎないでください。定期整備用のオイルは含まれていません。
6. 使用済みオイルは、認可された廃棄物管理施設に廃棄してください。

🗨️ 注意

オイルを入れたら目視で確認し、オイルが充填穴から1~2目盛りほど余裕があることを確認してください。オイルレベルを確認するためにオイルディップスティックを使用する場合、点検中にオイルディップスティックをねじ込まないでください。

発電機のクリーニング

1. スパークプラグからスパークプラグケーブルを外します。
2. スパークプラグソケットツール、または13/16インチ (21mm) ソケットを使用してプラグを取り外します。
3. プラグの電極を点検します。点火に必要な火花を発生させるには、きれいで磨耗していない必要があります。
4. スパークプラグのギャップが0.028-0.031インチ (0.7-0.8 mm) であることを確認してください。



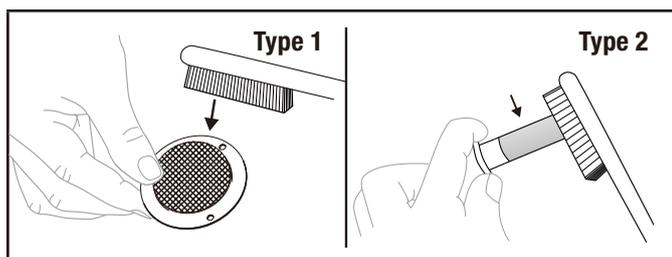
5. プラグを交換する際は、「仕様」のスパークプラグの種類を参照してください。
6. プラグをしっかりと再度取り付けます。
7. スパークプラグケーブルをスパークプラグに取り付けます。

メンテナンス

1. エアフィルターをアセンブリに固定しているスナップオンカバーを取り外します。
2. フォームエレメントを取り外します。
3. 液体洗剤と水で洗います。清潔な布で拭いてください。
4. きれいなエンジンオイルに浸します。
5. 清潔な布で余分なオイルを拭き取ります。
6. フィルターをアセンブリにセットします。
7. エアフィルターカバーを再び取り付け、所定の位置にはめ込みます。

スパークアレスタの清掃

1. スパークアレスタを整備する前に、エンジンが完全に冷えていることを確認してください。
2. スパークアレスタをマフラーに固定しているカバープレートを留めているネジ2個を取り外します。
3. スパークアレスタを取り外します。
4. スパークアレスタから付着したカーボンをワイヤーブラシで慎重に取り除きます。ワイヤーブラシを使用します。



5. スパークアレスタが損傷している場合は、交換してください。
6. マフラーにスパークアレスタとカバープレートを取り付け、手順2で取り外したネジで取り付けます。手順2で取り外したネジで取り付けます。

▲ 注意

スパークアレスタの清掃を怠ると、エンジン性能の低下につながります。

🗨️ 注意

スパークアレスタが必要な場合および場所については、地方自治体の法律ならびに行政上の要件が示されています。使用する前に確認し、法令に従ってご使用ください。

ガバナーの調整

▲ 警告

工場出荷時に設定されているガバナーに手を加えると、保証が無効になります。

混合気は調整できません。ガバナーに手を加えると、発電機や電気機器に損傷を与え、保証が無効になります。その他のサービスおよび/または調整が必要な場合は、専門業者にご連絡ください。

メンテナンススケジュール

以下のメンテナンススケジュールに記載されている整備間隔に従ってください。

悪条件下で運転する場合は、より頻繁に整備してください。

8時間ごと、または使用前

- オイルレベルの点検
- 吸気口とマフラー周辺の清掃

最初の5時間 (慣らし運転)

- オイル交換

50時間ごと、または毎年

- エアフィルターの清掃
- 高負荷または高温環境下で運転する場合は、オイルを交換する。

100時間ごと、または毎年

- オイル交換
- スパークプラグの清掃 / 調整
- バルブクリアランスの点検 / 調整*
- スパークアレスタの清掃
- 燃料バルブフィルターの清掃*

250時間ごと

- 燃焼室の清掃*

3年ごと

- 燃料ラインの交換*

*知識、経験豊富なオーナーまたは専門の技術者が行ってください。

保管**▲ 警告**

発電機の保管期間中、偶発的または意図しない点火を避けるため、以下の注意事項に従ってください：

- 発電機を保管する際は、エンジン・スイッチと燃料バルブが "OFF" の位置になっていることを確認してください。

短期保管 (最大30日間)

4週間以内に発電機を作動させるか、キャブレターの水抜きを行わないと、ガソリンが粘着質になってキャブレターを詰まらせる可能性があります。

1. すべての電気器具が発電機から取り外されていることを確認します。
2. 「エンジンの始動」の項に従って発電機を始動します。
3. 燃料バルブを「OFF」の位置に回します。
4. 燃料が枯渇してエンジンが停止するまで、エンジンを回転させます。エンジンを停止させます。これには通常数分がかかります。
5. エンジンスイッチを「OFF」の位置に動かします。

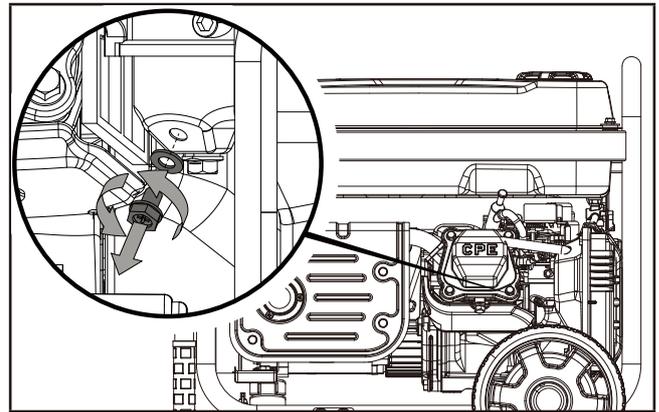
中期保管 (30日～1年)

タンク内のガソリンは、適切に調合された燃料安定剤を添加し、涼しく乾燥した場所に保管することで、最大1年の貯蔵寿命があります。

1. すべての電化製品が発電機から切り離されていることを確認します。
2. 適切な燃料安定剤をガソリンタンクに加えます。
3. 燃料バルブを「ON」の位置に回します。
4. 発電機を始動して10分間運転し、処理したガソリンを燃料系統に循環させます。
5. オプション1: キャブレターからガソリンを抜きます。
 - 5a. エンジンスイッチを「OFF」位置にし、発電機が完全に冷えてから続行します。

5b. 燃料バルブを「OFF」にします。

5c. キャブレターのドレンボルトを使用して、キャブレターから余分なガソリンを適切な容器に排出します。キャブレターのドレンボルトの下に漏斗 (必要であれば適切なホース) を使用し、こぼれないようにします。



5d. キャブレターからガソリンが出なくなったら、キャブレタードレンボルトを交換して締め付け、排出されたガソリンは必ず地域の規則またはガイドラインに従って適切に処理してください。

6. オプション2: ドライラン
 - 6a. 発電機が作動している状態で、燃料バルブを「OFF」位置に回し、燃料が完全に枯渇してエンジンが停止するまで発電機を作動させます。これには数分かかる場合があります。
 - 6b. エンジンスイッチを「OFF」の位置に回し、続行する前に発電機を完全に冷却します。
7. スパークプラグキャップとスパークプラグを取り外し、大さじ1杯のオイルをシリンダー内に注ぎます。
8. リコイルをゆっくり引いてエンジンをクランクし、オイルを分散させ、シリンダーを潤滑させます。
9. スパークプラグとスパークプラグキャップを取り付けます。
10. 「発電機の清掃」に従って発電機を清掃します。
11. 発電機を直射日光の当たらない、涼しく乾燥した場所に保管します。

長期保管 (1年以上)

1年以上保管する場合は、ガソリンタンクとキャブレターのガソリンを完全に抜いてください。

1. エンジンスイッチを「OFF」の位置にし、発電機が完全に冷えてから続行してください。
2. キャブレターに付いているドレンボルトを使い、余分なガソリンをガソリンタンクとキャブレターから適切な容器に空けます。

- 漏斗(および必要に応じて適切なホース)をキャブレターのドレンボルトの下に使用し、こぼれないようにします。
3. キャブレターからガソリンが流れなくなったら、キャブレタードレンボルトを交換して締め付け、排出されたガソリンを適切に処理します。排出されたガソリンは、地域の規則またはガイドラインに従って適切に処分してください。
 4. 燃料バルブを「OFF」位置に回します。
 5. 「中期保管」に従って、ステップ8~11に従ってください。

保管場所からの取り出し

注意

ガソリンタンクおよび/またはキャブレターにエタノールが混入したまま30日以上不適切に保管されていた場合、燃料をすべて抜き取り、キャブレターに付着したエタノールを完全に除去する必要があります。

この作業は、技術的に高度な作業を伴います。ご不明な点は技術サポートまたは専門業者までご連絡ください。

発電機が保管される前にガソリンタンクとキャブレターからエタノール混合ガソリンをすべて適切に空にした場合、保管場所から取り出す際は、以下の手順に従ってください。

1. エンジンスイッチが「OFF」になっていることを確認してください。
2. 「燃料の追加」に従って、発電機にガソリンを追加します。
3. 燃料バルブを「ON」位置に回します。
4. 5分後、キャブレターとエアフィルター部分からガソリンが漏れていないか確認します。漏れが見つかった場合は、キャブレターを分解して清掃するか、交換する必要があります。ガソリン漏れが見つからなければ、燃料バルブを「OFF」の位置に回します。
5. エンジンオイルのレベルを点検し、必要であればきれいな新油を補充します。適切なオイルの種類については、「オイルの仕様」を参照してください。
6. エアフィルターを点検し、虫やクモの巣などの障害物を取り除きます。必要であれば、「エアフィルターの清掃」に従ってエアフィルターを清掃します。
7. 「エンジンの始動」に従って発電機を始動します。

仕様

発電機の仕様

発電機モデル.....	500559-J
始動タイプ.....	手動
ワット数(始動/稼働)@60 Hz.....	4125/3300
ワット数(始動/稼働)@50 Hz.....	3750/3000
AC電圧.....	100V
ACアンペア@60 Hz.....	33
ACアンペア@50 Hz.....	30
周波数.....	50/60 Hz
相数.....	単相
重量.....	102.7 lb. (46.6 kg)
長さ.....	23.2 in. (59 cm)
幅.....	18.3 in. (46.4 cm)
高さ.....	19.9 in. (50.6 cm)

エンジンの仕様

排気量.....	224 cc
タイプ.....	4-ストロークOHV

スパークプラグ

OEM タイプ.....	F6RTC
交換タイプ.....	NGK BPR6ES または同等品
ギャップ.....	0.028-0.031 in. (0.7-0.8 mm)

バルブ

吸気クリアランス..	0.005-0.007 in. (0.13-0.17 mm)
排気クリアランス..	0.007-0.009 in. (0.18-0.22 mm)

オイルの仕様

オイルを入れすぎないでください。

タイプ.....	*以下の表を参照
容量.....	20.3 fl. oz. / 0.6 qt. (0.6 L)

注意

温度は、エンジンオイルとエンジン性能に影響します。「推奨エンジンオイルタイプ」の表に示されている温度に基づいて、使用するエンジンオイルの種類を変更してください。

燃料の仕様

オクタン価 87以上の無鉛ガソリンを使用し、エタノールの含有量が容積比が 10%以下であること。E15または E85は使用しないでください。ガソリンを入れ過ぎないでください。

ガソリン容量..... 4.7 gal. (17.8 L)

温度仕様

開始温度範囲..... 5~104(°F) / -15~40(°C)

注意

温度に関する重要なメッセージ:本製品は、40°C (104°F)までの周囲温度で連続運転できるように設計され、定格されています。必要に応じて、短時間であれば-15°C (5°F)から50°C (122°F)までの温度で使用することができます。保管中にこの範囲外の温度にさらされた場合は、運転前にこの範囲内に戻してください。いずれにせよ、本製品は、必ず屋外の風通しの良い場所で、ドア、窓、換気口などから離して使用してください。

推奨エンジンオイルの種類								
			10W-30					
		5W-30			10W-40			
		5W-30 フルシンセティック						
°F	-20	0	20	40	60	80	100	120
°C	-28.9	-17.8	-6.7	4.4	15.6	26.7	37.8	48.9
	周囲温度							

図A 部品図

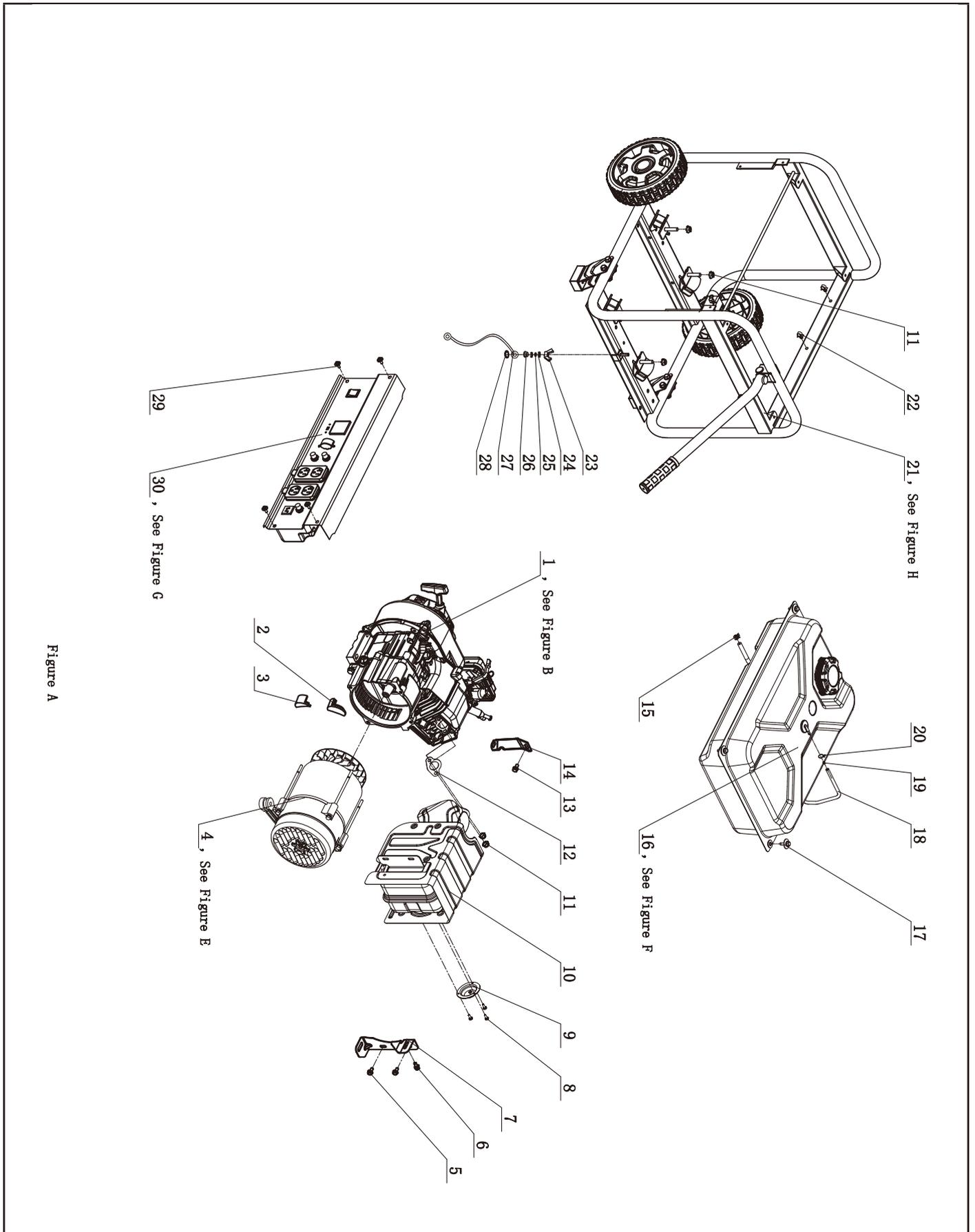


Figure A

図 A 部品リスト

#	Part Number	Description	Qty.
1	500559-J	Engine, 224cc, See Figure B	
2	122.190005.00	Rubber, Fore-Cover, B	
3	122.190005.01	Rubber, Fore-Cover, A	
4	124.190000.39	Alternator Assembly, Al, Ø160 x 130 mm, See Figure E	
5	1.5789.0620	Flange Bolt M6 x 20	
6	1.5789.0615	Flange Bolt M6 x 15	
7	27.100100.01	Bracket, Muffler	
8	1.823.0406	Screw M4 x 6	
9	27.101300.00	Spark Arrester Assembly	
10	27.101000.01.2	Muffler Assembly, Black	
11	1.6177.1.08	Lock Nut M8, Flange	
12	26.100001.00	Gasket, Exhaust	
13	1.5789.0608	Flange Bolt M6 x 8	
14	23.090006.21	Holder, Air Cleaner	
15	2.06.007	Clamp Ø8.2 x b8	
16	122.070000.66	Fuel Tank Assembly, See Figure F	
17	2.08.143.1	Flange Bolt/Washer Assembly M6 x 20, Black	
18	122.070014.02	Tube, Reversal Valve, 670 mm	
19	24.070030.00	Hole, Breather Tube	
20	2.06.006	Clamp Ø7 x Ø1	
21	62420.500559-J	Frame, Wheel Kit, See Figure H	
22	2.05.001	Clamp Ø8 x 6.5	
23	1.62.06	Butterfly Type Nut M6	
24	1.93.06.2	Lock Washer Ø6	
25	1.97.1.06.2	Washer Ø6	
26	1.6177.1.06	Lock Nut M6, Flange	
27	5.1900.076	Grounding Line 150 mm	
28	1.862.06	Lock Washer Ø6, Toothed	
29	2.08.068.1	Flange Bolt M5 x 13	
30	500559-J.21	Control Panel Assembly	

図 E 部品図

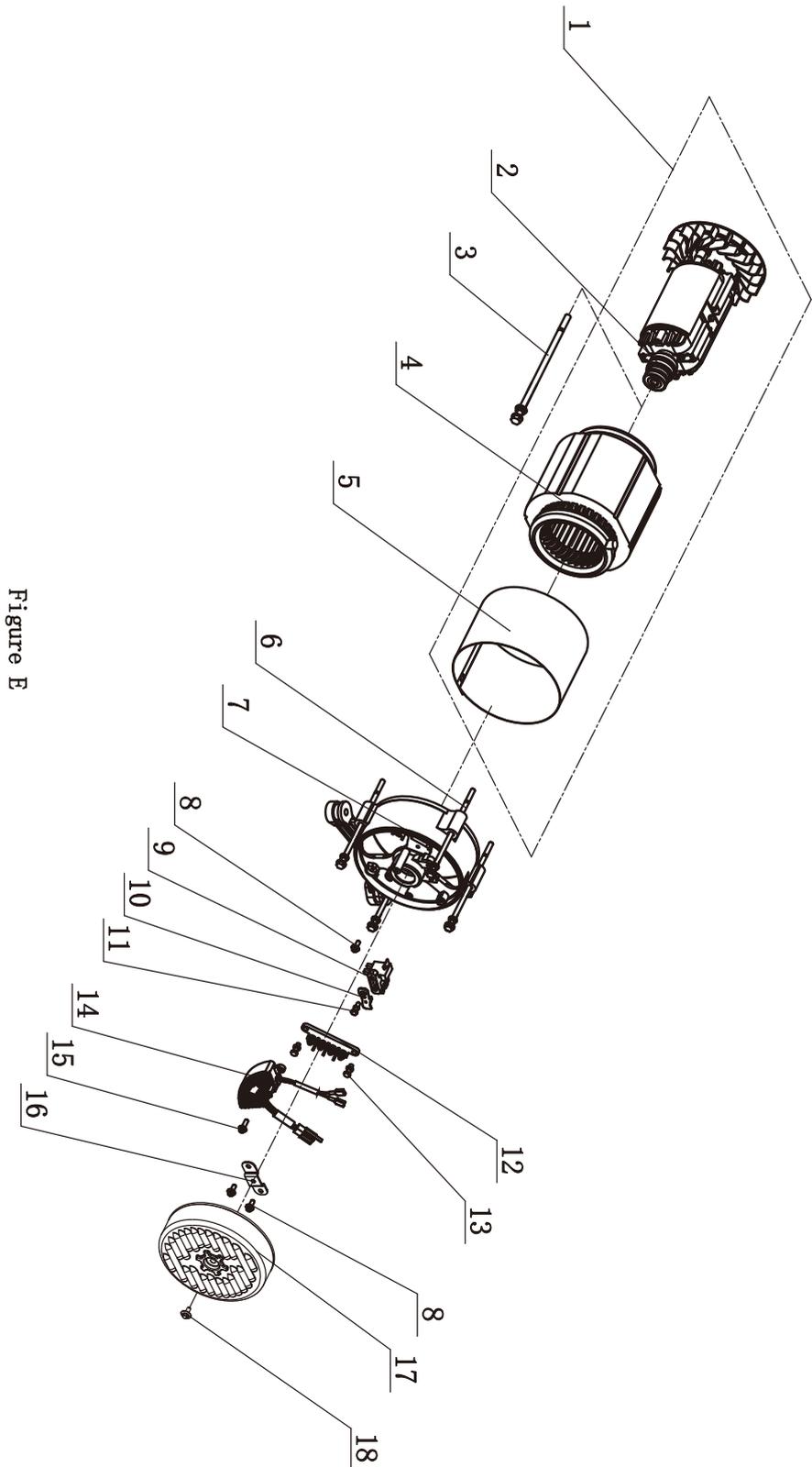


Figure E

図 E部品リスト

#	Part Number	Description	Qty.
1	124.191000.39	Motor Assembly, Al, Ø160 x 130 mm	1
2	124.191100.39	Rotor Assembly, Al, Ø160 x 130 mm	1
3	2.08.022	Flange Bolt/Washer Assembly M8 x 242	1
4	124.191200.39	Stator Assembly, Al, Ø160 x 130 mm	1
5	123.191002.01	Stator Cover	1
6	2.08.065	Flange Bolt/Washer Assembly M6 x 168	4
7	122.190002.00	End Housing	1
8	1.16674.0512.2	Flange Bolt M5 x 12	3
9	122.190300.00	Carbon Brush Assembly	1
10	122.190004.01	Pinch, Carbon Brush	1
11	1.9074.15.0520	Bolt/Washer Assembly M5 x 20	1
12	122.190400.02	Terminal Block	1
13	1.9074.17.0516	Screw/Washer Assembly M5 x 16	2
14	122.190200.05	AVR	1
15	1.16674.0516	Flange Bolt M5 x 16	2
16	122.190018.03	Bracket, Generator End Cover	1
17	122.190003.01.48	Generator End Cover, Yellow	1
18	2.08.185.1	Flange Bolt M5 x 10, Black	1

図 F 部品図

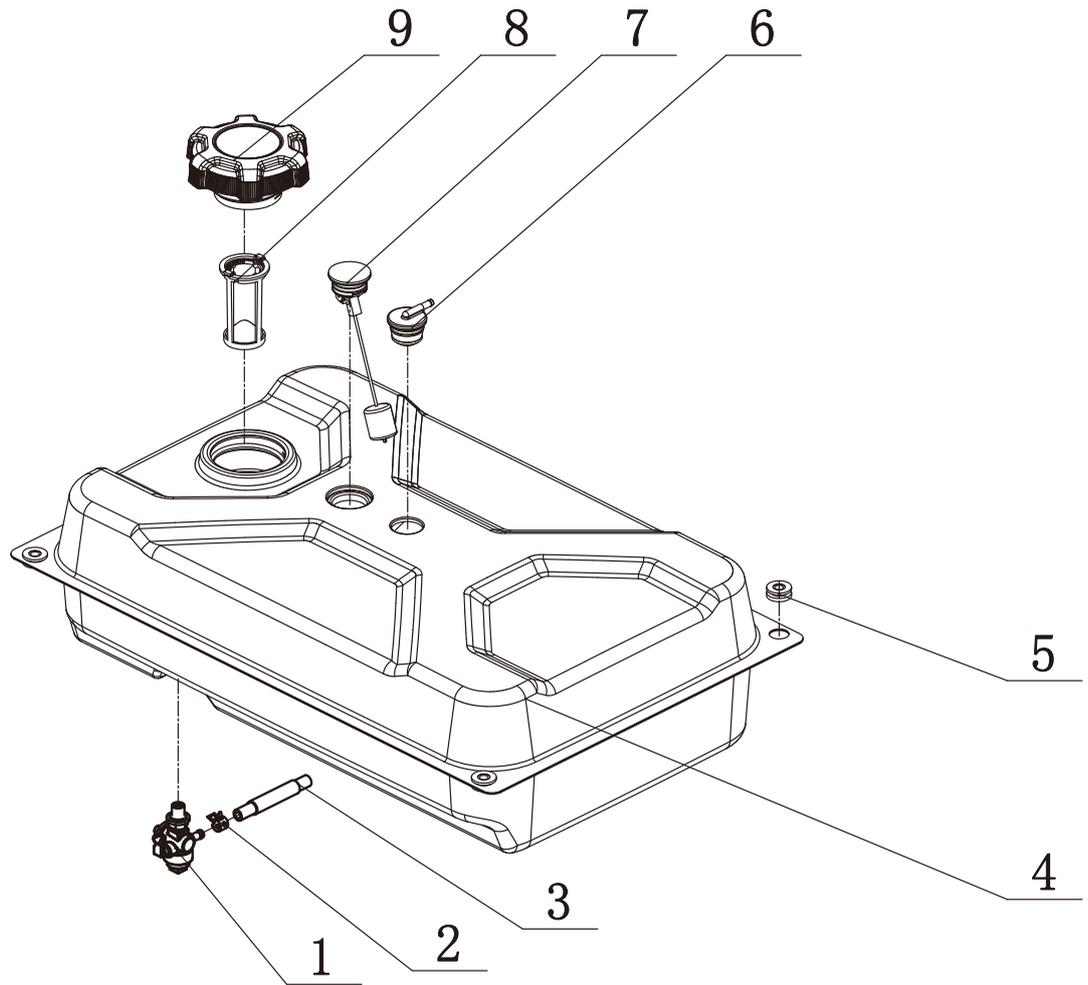


Figure F

図 F 部品リスト

#	Part Number	Description	Qty.
1	122.070400.05	Fuel Valve	1
2	2.06.006	Clamp Ø8.2x b8	1
3	23.070011.04	Fuel Pipe, 155 mm	1
4	122.071000.66.48	Fuel Tank, 18L, Yellow	1
5	122.070015.01	Mount Vibration, Fuel Tank	2
6	24.070800.00	Reversal Valve	1
7	45.072000.01	Fuel Level Assembly	1
8	122.070300.03	Fuel Filter	1
9	122.070100.09	Fuel Tank Cap	1

図 G 部品図

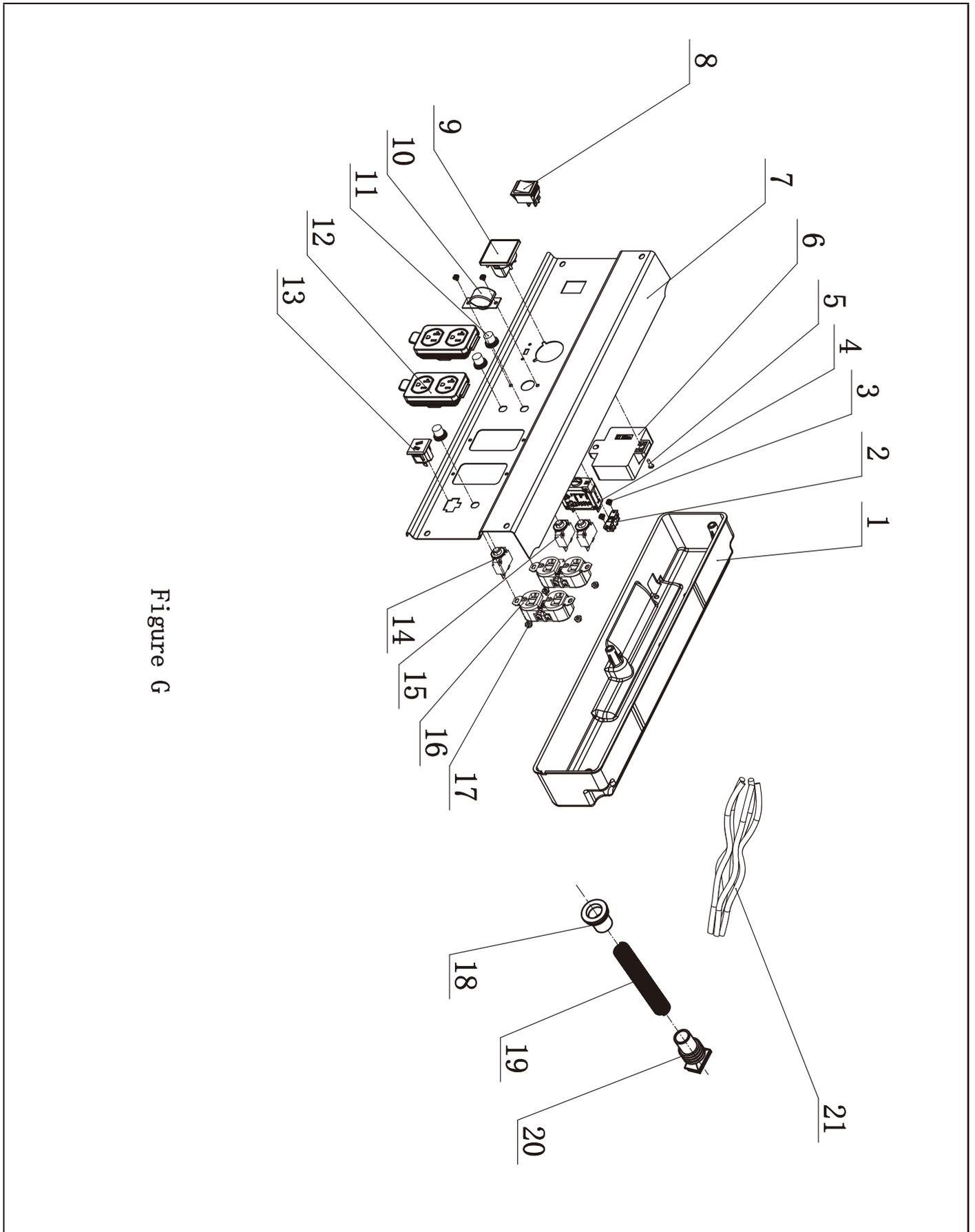


Figure G

図 G 部品リスト

#	Part Number	Description	Qty.
1	122.210002.37	Control Box	1
2	5.1050.013	Switch	1
3	1.9074.4.0306.1	Screw/Washer Assembly M3 x 6, Black	4
4	5.1220.330	33Amp Circuit Breaker	1
5	1.818.0514.2	Screw M5 x 14	2
6	5.1830.037	Speed Control Module	1
7	122.01.131.2	Control Panel	1
8	5.1000.004.3	Switch	1
9	5.1430.008.99	Intelligauge	2
10	5.1870.002	Circuit Breaker Cover	1
11	5.1870.014	Circuit Breaker Cover, Push Button	3
12	5.1870.025	Receptacle Cover, Receptacle 5-20R	2
13	5.1110.001	Receptacle, 12V	1
14	5.1200.110	10Amp Circuit Breaker, Push Button	1
15	5.1210.920	20Amp Circuit Breaker, Push Button, CSA	2
16	5.1120.027	Receptacle 5-20R, Duplex, CSA	2
17	1.6177.1.04.1	Lock Nut M4, Flange, Black	4
18	122.210003.01	Wire Jacket, Control Box	1
19	5.1330.116	Sheath, Wire	1
20	122.210003.03	Plug, End Cover	1
21	500559-J.21.10	Wire Assembly	1

図 H 部品図

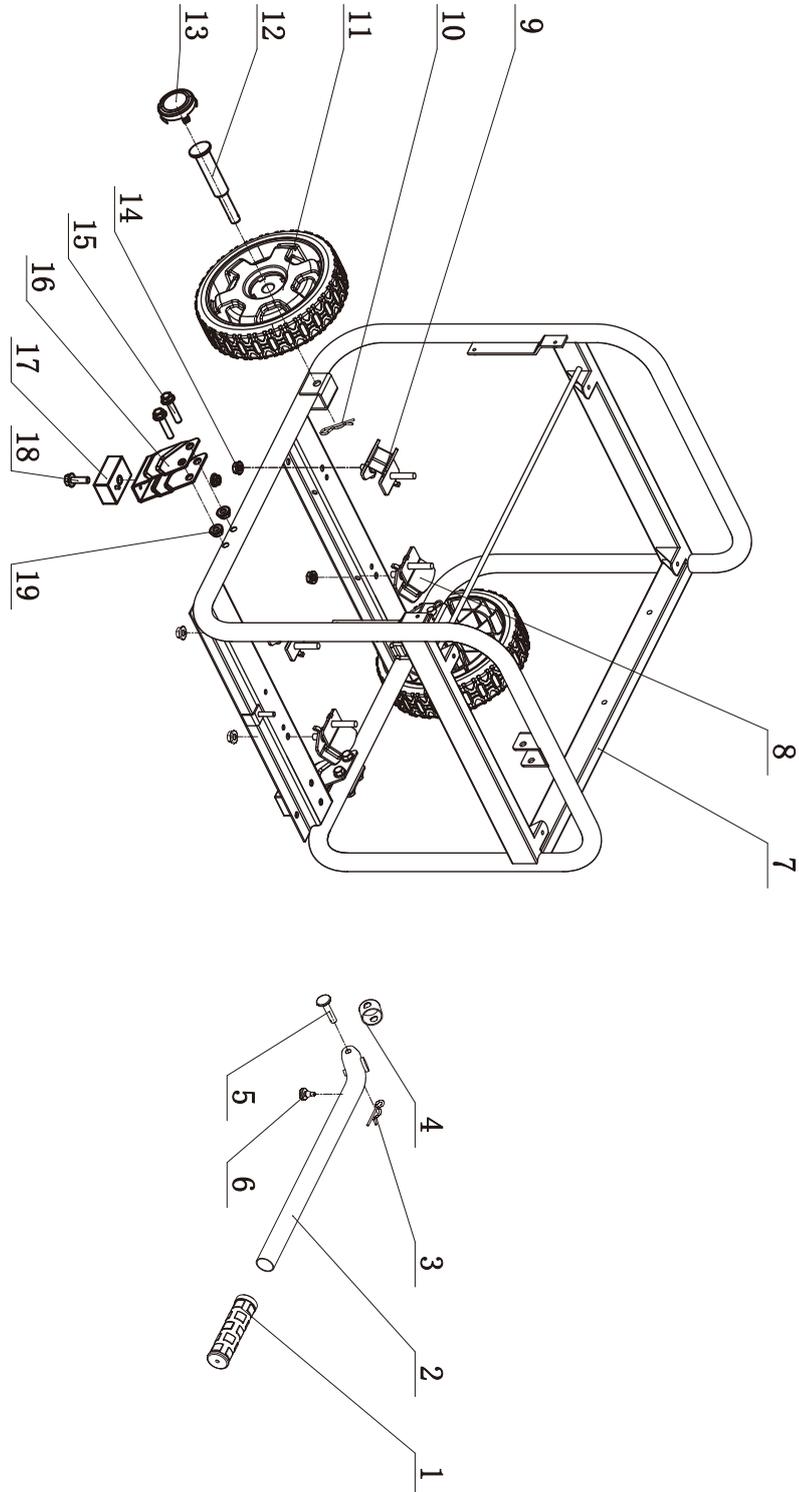
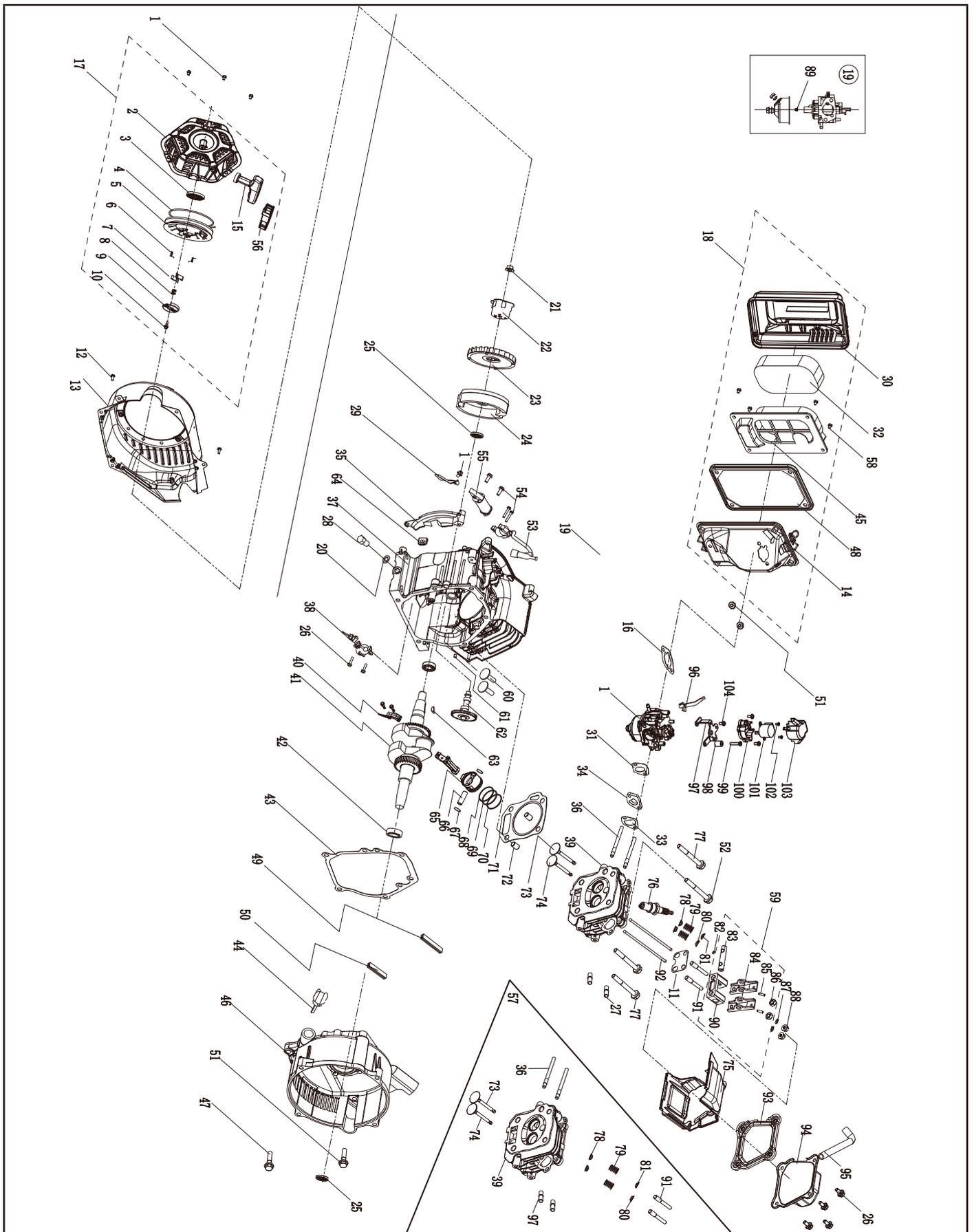


Figure H

図 H 部品リスト

#	Part Number	Description	Qty.
1	152.200702.00	Cover, Handle	1
2	122.200701.11	Handle	1
3	11.110008.00	"R" Shape	4
4	122.201001.00	Hard Rubber	1
5	122.200703.11	Short Pin, Handle	2
6	122.201400.03	Rubber	1
7	62420.0.16.2	Frame, 590 x 451 x 492mm	1
8	122.201200.00	Motor Mount 2	1
9	122.201200.01	Motor Mount 1	2
10	2.16.001.1	Pin Ø2 x 33, "R" Shape, Blcak	1
11	122.201701.11.48	8 in. Wheel, PU, Yellow	3
12	122.201501.23.1	Pin Roll, Wheel, Ø16 x Ø10 x 97, Blcak	2
13	122.201702.11.48	Wheel Cover, Tooth Profile 8-10 in, Yellow	1
14	1.6177.1.08	Lock Nut M8, Flange	1
15	1.5789.0840.1	Flange Bolt M8 x 40, Blcak	2
16	152.200002.16.2	Support Leg, 68 mm	2
17	122.201400.04	Rubber, Support	4
18	1.5789.0825.1	Flange Bolt M8 x 25, Blcak	1
19	1.6177.1.08.1	Lock Nut M8, Flange, Blcak	1
20	122.210003.03	Plug, End Cover	1
21	500559-J.21.10	Wire Assembly	1

図B部品図



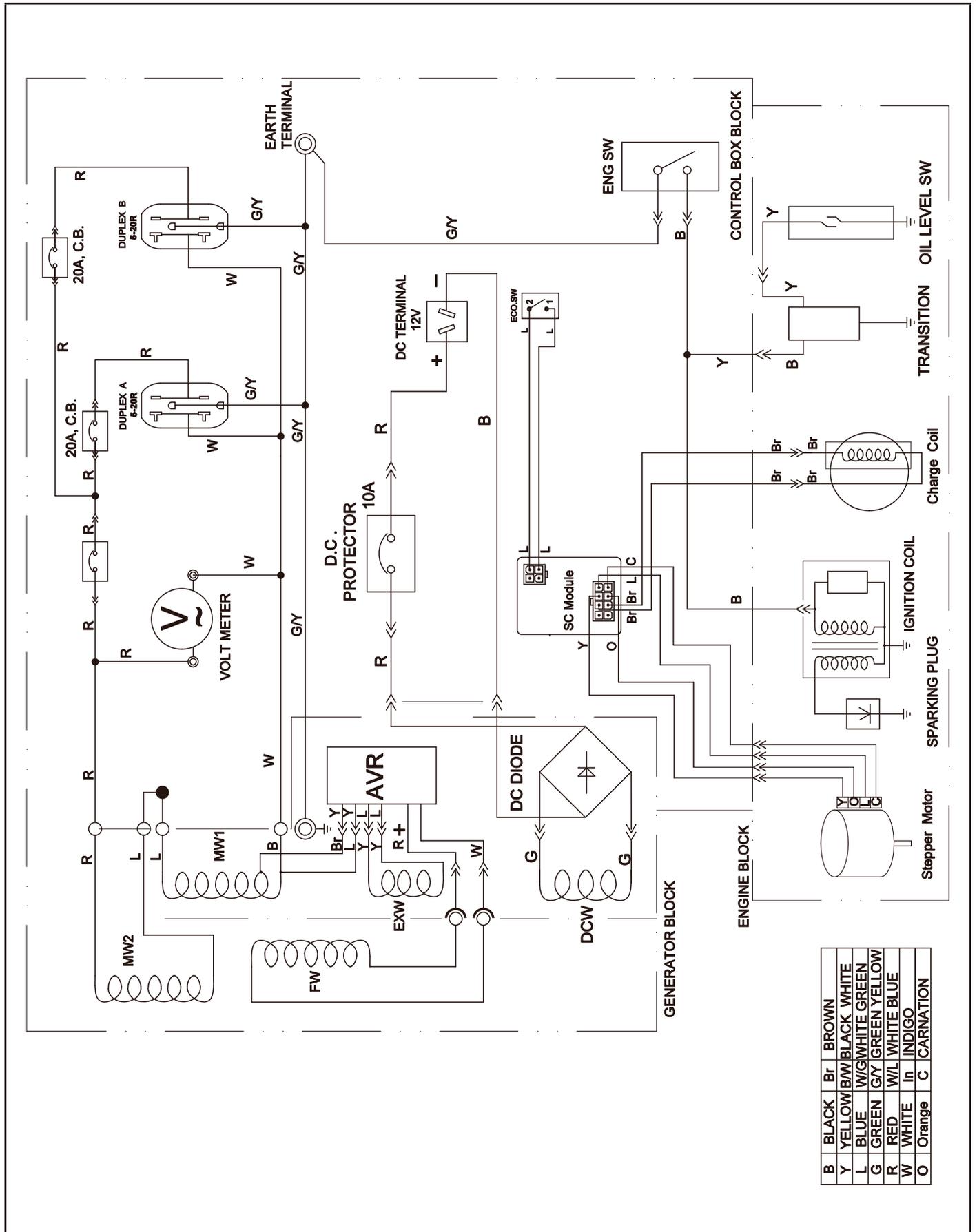
図B 部品リスト

#	Part Number	Description	Qty.
1	1.5789.0608	Flange Bolt M6 x 8	4
2	27.061100.01.2	Cover, Recoil Starter, Black	1
3	21.061005.00	Spring, Recoil Starter	1
4	2.10.003.1	Rope Ø4 x 1650, Black	1
5	21.061001.01	Reel, Recoil Starter	1
6	45.060003.00	Spring, Ratchet	2
7	45.060002.00	Starter Ratchet, Steel	2
8	45.060009.00	Spring, Ratchet Guide	1
9	45.060007.00	Ratchet Guide	1
10	45.060008.00	Screw, Ratchet Guide	1
11	24.040004.00	Guide Plate, Push Rod	1
12	1.5789.0612	Flange Bolt M6 x 12	4
13	27.080100.02.48	Fan Cover, Yellow	1
14	24.091100.21	Base, Air Cleaner	1
15	21.061006.02	Handle, Recoil, Soft	1
16	24.130004.20	Gasket, Air Cleaner	1
17	27.061000.01	Recoil Assembly	1
18	27.091000.04	Air Cleaner Assembly	1
19	27.131000.23	Carburetor	1
20	2.03.016	Washer Ø10 x Ø16 x 1.5, Drain Bolt	1
21	2.02.006	Nut M14 x 1.5	1
22	83.060001.01	Pulley, Starter	1
23	27.080001.00	Cooling Fan	1
24	24.120100.11	Flywheel	1
25	2.11.001	Oil Seal Ø25 x Ø41.3 x 6	2
26	1.5789.0615	Flange Bolt M6 x 15	6
27	2.01.010	Stud Bolt M8 x 35	2
28	2.08.037	Drain Bolt M10 x 25 x 1.25	1
29	23.030006.00	Plate, Coil	1
30	27.091200.04	Cover, Air Cleaner, Black	1
31	22.130003.00	Gasket, Carburetor	1
32	23.091003.21	Element, Air Cleaner	1
33	24.130002.00	Gasket, Insulator	1
34	27.130001.00	Insulator, Carburetor	1
35	23.080600.01	Air Guide, Right Side	1
36	2.01.003	Stud Bolt M6 x 90	2
37	27.030100.01	Crankcase	1
38	21.127000.02	Oil Level Sensor	1
39	26.010100.01	Cylinder Head, 224cc	1
40	27.050200.00	Connecting Rod	1
41	27.050100.00	Crankshaft	1

#	Part Number	Description	Qty.
42	1.276.6205	Bearing 6205	2
43	24.030008.00	Gasket, Crankcase Cover	1
44	22.031000.00.48	Oil Dipstick Assembly, Yellow	1
45	23.091001.21	Separator, Air Cleaner	1
46	27.030007.01	Cover, Crankcase	1
47	1.5789.0832	Flange Bolt M8 x 32	5
48	23.091002.21	Seal, Air Cleaner	1
49	27.030013.00	Seal Strip, Crankcase Cover, Long	1
50	27.030013.01	Seal Strip, Crankcase Cover, Short	1
51	1.5789.0840	Flange Bolt M8 x 40	1
52	2.08.121	Flange Bolt M10 x 65	1
53	22.123000.02	Ignition Coil, Shield	1
54	1.5789.0625	Flange Bolt M6 x 25	4
55	45.121000.03	Coil, Charging	1
56	21.061301.01.48	Support, Handle, Recoil	1
57	27.010000.00	Cylinder Head Assembly	1
58	2.08.166	Flange Bolt M5×12	4
59	24.040200.00	Rocker Arm Assembly	1
60	25.040013.00	Lifter, Valve	2
61	2.04.001	Dowel Pin Ø9 x 14	2
62	27.041000.00	Camshaft	1
63	2.14.012	Woodruff Key 4 x 7.5 x 19	1
64	45.030032.00	Sheath, Wire	1
65	27.050005.00	Piston	1
66	23.050003.00	Pin, Piston	1
67	2.09.001	Circlip Ø18 x Ø1	2
68	27.050303.00	Ring, Oil	1
69	27.050302.00	Ring, Second Piston	1
70	27.050301.00	Ring, First Piston	1
71	27.030009.01	Gasket, Cylinder Head	1
72	2.04.003	Dowel Pin Ø10 x 14	2
73	23.040002.02	Valve, Intake	1
74	23.040006.02	Valve, Exhaust	1
75	27.080200.00	Air Shroud, Cylinder	1
76	2.15.002	Spark Plug F6RTC	1
77	1.5789.0865	Flange Bolt M8 x 65	3
78	23.040017.00	Oil Seal, Valve, Iron	2
79	21.040003.00	Spring, Valve	2
80	21.040007.00	Retainer, Exhaust Valve Spring	1
81	21.040001.00	Retainer, Intake Valve Spring	1

#	Part Number	Description	Qty.
82	21.040008.00	Rotator, Exhaust Valve	1
83	24.040202.00	Shaft, Rocker Arm	1
84	22.040009.00	Rocker Arm, Intake Valve	2
85	22.040012.00	Screw, Valve Adjustment	2
86	21.040021.00	Nut M6 x 0.5, Lock	2
87	1.97.1.06	Washer Ø6	2
88	1.6177.1.06	Flange Nut M6	2
89	27.131017.01	Standard Main Jet	1
	27.131017.01.01	Altitude Main Jet	/
90	24.040201.00	Retainer, Rocker Arm	1
91	23.040010.00	Bolt, Rocker Arm	2
92	27.040005.00	Push Rod	2
93	21.020002.01	Gasket, Cylinder Head Cover	1
94	24.021000.00	Cover, Cylinder Head	1
95	23.020001.02	Breather Tube, 112 + 35	1
96	23.130100.20	Choke Lever	1
97	85.130005.04	Support, Stepper Motor	1
98	2.13.034	Bush Ø5 x Ø10 x 12	1
99	1.9074.4.0420.1	Screw M4 x 20	1
100	85.132100.04	Support, Stepper Motor	1
101	85.132200.01	Stepper Motor	1
102	1.823.0306.1	Screw M3 x 6	2
103	81.132001.00	Cover, Stepper Motor	1
104	1.9074.3.0408	Screw M4 x 8	3

配線図



トラブルシューティング

問題	原因	解決方法
エンジンが始動しない	燃料が入っていない	燃料を充填してください
	スパークプラグの不良	スパークプラグの清掃と調整、または交換
	起動時にユニットに負荷がかかる	ユニットから負荷を取り除く
	オイルレベルが低い	クランクケースを適切なレベルまで満たす
		発電機を平らで水平な場所に置く
	スパークプラグワイヤーが緩んでいる	ワイヤーをスパークプラグに取り付ける
	燃料バルブが閉じている	燃料バルブを開く
エンジンスイッチがOFFになっている	エンジンスイッチをオンにする	
エンジンは始動するが、運転が荒	チョークの位置が正しくない	チョークを調整する
	エアフィルタが汚れている	エアフィルタを清掃するか交換する
	燃料バルブが汚れている	燃料バルブを清掃する
運転中にエンジンが停止する	燃料切れ	燃料タンクを満タンにする
	オイルレベルが低い	クランクケースを適切なレベルまで満タンにする 発電機を平らな場所に置く
発電機が十分な電力を供給できない または過熱している	発電機に過負荷がかかっている	負荷を見直して調整する 「電気負荷の接続」を参照
	エアフィルターが汚れている	エアフィルターを清掃するか交換する
AC出力がない	コードの接続不良	すべての接続を点検する
	接続機器に不具合がある	欠陥のあるデバイスを交換する
	サーキットブレーカーが開いている	サーキットブレーカをリセットする
	ブラシアセンブリの不良	ブラシアセンブリを交換する(サービスセンター)
	AVR(自動電圧調整器)の故障	AVRを交換する(サービスセンター)
	配線が緩んでいる	配線の接続を点検し、締める
	その他	専門業者に連絡する
エンジンがハンチングする	エンジンガバナーに欠陥がある	専門業者に連絡する
サーキットブレーカーが繰り返し落ちる	過負荷。負荷を見直して調整する	負荷を見直して調整する 「電気負荷の接続」を参照
	電源コードまたは装置の不良	ワイヤーが損傷、裸、または擦り切れていないか 点検する。欠陥のある不良デバイスを交換する



輸入元: 徳士ジャパン株式会社
福岡市早良区梅林6-23-18
MADE IN CHINA